

令和4年度 第2次香取市総合計画 後期基本計画

かとりみらい会議実施報告書

第1回:6月12,15日実施

第2回:8月21,24日実施

令和4年9月

香 取 市

目次

I 第1回 かとりみらい会議	1
第1章 実施概要	2
1. 目的・活用方法	3
2. 実施日時・場所	3
3. 参加者	3
4. プログラム内容	4
第2章 実施結果	6
1. 産業・経済の振興	7
2. 生活・環境の向上	11
3. 健康・福祉の充実	15
4. 教育・文化の振興	19
5. 都市基盤の整備	24
6. 市民参画・行政の取組	29
II 第2回 かとりみらい会議	31
第1章 実施概要	32
1. 目的・活用方法	33
2. 実施日時・場所	33
3. 参加者	33
4. プログラム内容	34
第2章 実施結果	35
1. 課題の抽出と細分化・解決策の検討と分類	36
2. 具体的な解決策の策定	42
III 会議結果に基づく取組の方向性	49
第1章 取組の方向性	50
1. 産業・経済の振興	52
2. 生活・環境の向上	53
3. 健康・福祉の充実	54
4. 教育・文化の振興	55
5. 都市基盤の整備	56
6. 市民参画・行政の取組	57
第2章 総括	58
1. 総括	59
IV 参考資料	60
1. 参加者アンケート	61
2. 当日ワークシート	64

I 第1回 かとりみらい会議

(2022年6月12, 15日実施)

第1章 実施概要

1. 目的・活用方法
2. 実施日時・場所
3. 参加者
4. プログラム内容

1. 目的・活用方法

香取市で暮らす幅広い年齢層の市民の皆様から多様な意見を聴取し、第2次香取市総合計画後期基本計画の内容に反映することを目的として、ワークショップを開催しました。具体的な反映箇所としては、「施策の展開」「現状」「主な課題」「市民・地域への期待」等の項目に反映することを想定しています。

現行計画(香取市総合計画前期基本計画の各施策ページ)※

**本日の会議結果
の活用方法**

- 「施策の展開」の“取り組み方針”に反映
- 「現状」「主な課題」に反映
- 「市民・地域への期待」に反映

※第2次香取市総合計画後期基本計画では、前期基本計画からレイアウトや項目が変更となる可能性があります。
 ※上述したイメージは、聴取した意見を現行計画上のどの項目に該当するかを表しています。

2. 実施日時・場所

(1) 日時

DAY1：2022（令和4）年6月12日（日）10:00～12:00

DAY2：2022（令和4）年6月15日（水）18:30～20:30

※幅広い市民等の方に出席いただくため、曜日・時間帯を変え2回実施しました。

※1回目、2回目ともに、同じプログラムで実施しています。

(2) 場所

香取市役所 5階 会議室

3. 参加者

高校生から高齢者の方まで、幅広い年齢層や職業の方にお集まりいただき、合わせて54名の方にご参加いただきました（年齢層については後述の参加者アンケート参照）。また、市民の方からの意見を伺える貴重な機会であるため、会議にはプロジェクトチームメンバーも参加しました。

(1) 参加者数

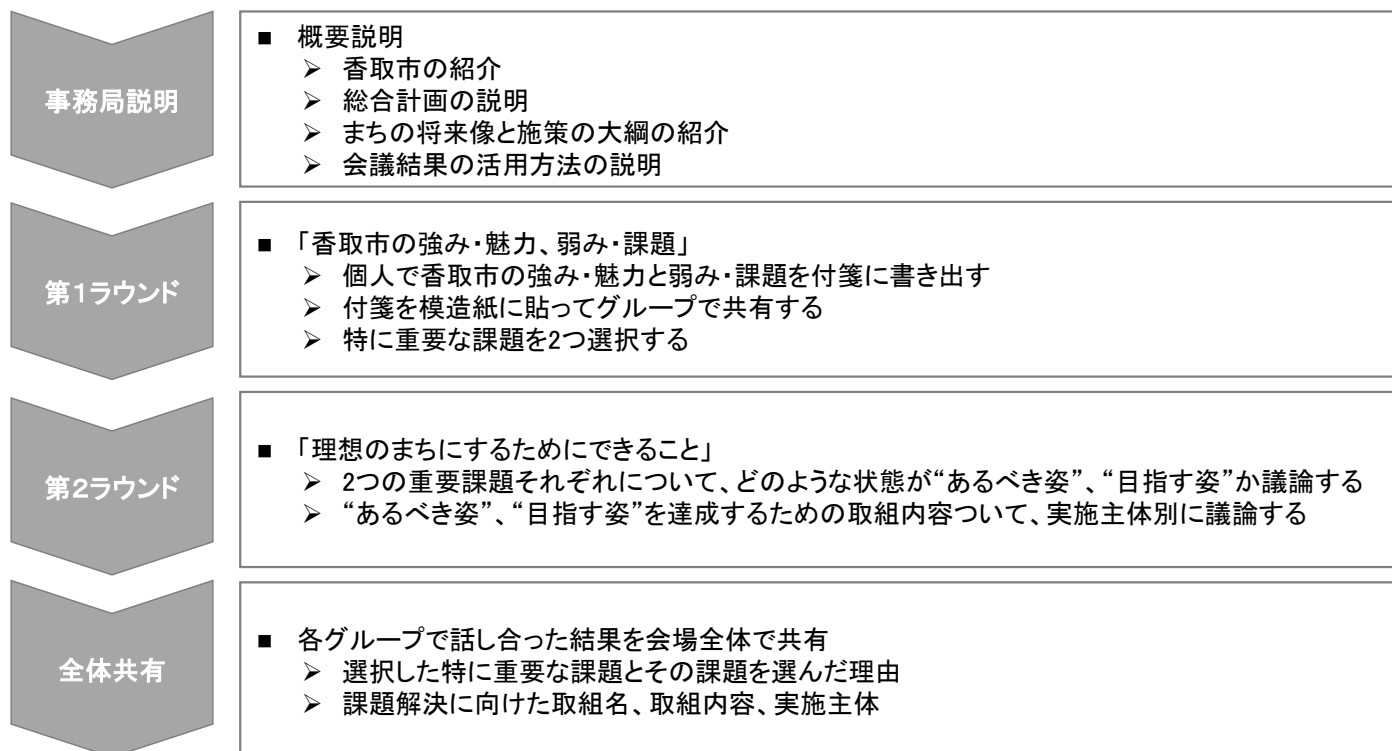
DAY1：高校生11名、市民の方22名、香取市職員（プロジェクトチーム※7名※）

DAY2：市民の方21名、香取市職員（プロジェクトチーム※10名）

※第2次香取市総合計画後期基本計画を策定するにあたり、特定テーマの研究、先進事例等の研究や今後の施策立案を検討する際の中心となる香取市職員の選抜メンバー

4. プログラム内容

【全体の流れ】



プログラムの全体構成は、まず、現行計画の概略や当日の進め方など事務局説明を行いました。その後、1グループ5~6名として数グループを作り、グループ単位で第1ラウンド、第2ラウンドのテーマに沿ってグループワークを行いました。最後に、各グループにおいて第2ラウンドで話し合った内容を全体共有する目的で発表の時間を設けました。

第1ラウンドでは、「どのような資源等（良いところ）を活用してまちづくりを進めるべきか」「どのような資源等（良いところ）を伸ばすためのまちづくりを進めるべきか」「生活している課題の解決に使える（きっかけになる）資源や良いところはないか」等を考えていただくため、香取市が抱えている資源や良いところである、香取市の「強み・魅力」を話し合いました。

また、香取市の「強み・魅力」だけでなく、市民の方が実際に生活している中で感じている、香取市の「弱み・課題」についても話しあい、各グループでまとめました。

さらに、香取市の「弱み・課題」の中でも、今後のまちづくりを進める上で、優先的に解決すべき課題や特に重要であると感じている課題をグループごとに2つ選定（重要課題）しました。

なお、グループワークにあたっては付箋に自分の意見を書き出し、グループ内で発表や意見交換したうえで、模造紙の上に似た意見をグルーピングしながら、意見をまとめました。

第2ラウンドでは第1ラウンドで選択した2つの重要課題に対し「理想のまちにするためにできること」を検討しました。あるべき姿はどのようなものか、また、あるべき姿を目指すために、市民、団体、企業、行政がそれぞれどのような行動をすべきかについてグループ内で協議し、ワークシートにまとめました。

なお、第1ラウンド、第2ラウンドの実施にあたっては、時間的な制約もあることから、論点を絞ることにより深い、有意義な議論を促すためテーマを絞っています。具体的には、次の「第2次香取市総合計画前期基本計画」で定めた6つの大綱の中から、各グループにおいて意見交換したいテーマを選択し、2つのテーマ（大綱）についてグループワークを行いました。

◆第2次香取市総合計画前期基本計画で定めた6つの大綱

1. 産業・経済の振興	～産業の活性化によりまちの活気を高め、賑わいのあるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：農業、林業、畜産業、商業、工業、雇用、観光、地域産業振興、企業誘致、産業誘致など
2. 生活・環境の向上	～水と緑のやすらぎを感じ、安心・安全に暮らせるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：自然環境、脱炭素、環境美化、公害、廃棄物、公園、水辺空間、交通安全、防犯、防災、救急、人権、男女共同参画、LGBTQ+など
3. 健康・福祉の充実	～支えあい、健康で生き生きと自分らしく暮らせるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：地域福祉、介護保険、地域包括ケア、高齢者福祉、子育て、保育、障がい者福祉、健康づくり、感染症対策、地域医療など
4. 教育・文化の振興	～地域の歴史・文化を知り、未来を担う人を育むまちを創る～ 主な分野（キーワード）：学校教育、給食、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ、歴史、文化、芸術など
5. 都市基盤の整備	～安全で快適な魅力あふれるまちを創る～ 主な分野（キーワード）：都市計画、土地利用、町並み、市街地整備、空き家、住環境、道路、河川、公共交通、上下水道など
6. 市民参画・行政の取組	～みんなが力を発揮して将来に続くまちを創る～ 主な分野（キーワード）：市民協働、地域コミュニティ、国際交流、多文化共生、地域連携、広報・広聴、シティプロモーション、行財政改革など

第2章 実施結果

1. 産業・経済の振興
2. 生活・環境の向上
3. 健康・福祉の充実
4. 教育・文化の振興
5. 都市基盤の整備
6. 市民参画・行政の取組

本章では先述した第1ラウンド（香取市の強み・魅力、弱み・課題及び重要課題）、第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」のグループワーク結果について、「第2次香取市総合計画前期基本計画で定めた6つの大綱」ごとにまとめています。なお、第1ラウンドの結果については、各グループワークの結果を個別に記載するのではなく、同様のキーワード、同様の付箋内容は1つにまとめ概要として表しています。第2ラウンドの結果については、グループごとに検討した、重要課題への対応策（目指すべき姿や各主体の役割）をそのまま掲載しています。

1. 産業・経済の振興

「産業・経済の振興」においては、農業、林業、畜産業、商業、工業、雇用、観光、地域産業振興、企業誘致、産業誘致などの分野をテーマに延べ4グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「産業・経済の振興」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、基幹産業である農業に関する肯定的な意見（農業が盛ん、売り上げが大きいなど）、歴史的な街並み、伝統、観光、自然環境の豊かさのほか、人柄の良さ等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として産業全般に関する後継者不足や雇用環境の厳しさ、人口減少対策の必要性、観光分野のソフト・ハード面等多岐に渡る課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
農業	小見川の田んぼ、田んぼの多さ、米がおいしい、農業、農作物の生産量の多さ、県下の米どころ、米・芋、ブランド化、アグリ事業の確立、農水省の補助金活用、6次産業化、農業の売上の多さ、豊富な農畜産物、農地が豊富 等
町並み	町並みが好き、伝統があり有名、古い建物、町並みの維持活動 等
道の駅	道の駅がある、道の駅が2つある 等
アクセス	都心から近い、成田空港が近い（訪日外国人）、ロケーションの良さ 等
企業誘致・就職支援	近隣市の企業への就労支援、地元企業への就職支援 等
観光	観光資源が豊富、小見川沿いの観光、観光客の多さ、自然の家での自然体験、おいしいご飯屋さんの多さ、テレビで紹介されている、佐原、大祭 等
自然環境	橘ふれあいパーク、水生植物園 等
地域資源	環境が壊されていない、歴史資産がある、古い町並み、祭り、どぶろく特区、温泉施設がいくつもある、小見川の花火大会がある 等
人のつながり	横のつながりが強い、仲良くなると協力的である、義理堅い 等
その他	道の駅・川の駅がある、無料婚活（月2回） 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
職業・就業 環境	農業後継者がいない、高齢化、林業の業者が少ない、職場が少ない、農業に携わる人の減少 等	「第二次産業（農業の振興）」 「働く場所が少ない」
人口減少	若者の流出、人口減少、田んぼの担い手不足、労働者不足、外の人が入りにくい、伝統の承継者不足、事業者が少ない 等	「人口減少」
産業・PR	給料の良い企業の誘致、企業誘致が上手くいっていない、大手企業がない、土地がない、IT企業が少なく、就職先がない、大きな商業施設がない、商店街に元気がない、ブランド力がない、外への発信力が弱い、人の集まるランドマーク、都市型のスーパーがない、区画整備がされていない、香取神宮があまり活かされていない、米を売り出した店がない、畜産のイメージがない、小野川をもっときれいに、小野川以外の町並み 等	「農業・商業・後継者の不足」 「発信力が弱い」
起業支援	出店が難しい（家賃・場所）、起業後の収益化（第3次産業）、起業・誘致支援の使い勝手 等	「起業支援」
観光	観光客用の駐車場がない、街中にトイレがない、観光客が通行する道路が危ない、佐原以外でお金を落とすところがない、観光PRが少ない、観光客の動線が悪い、公共施設と商店の定休日を統一した方がよい 等	「観光地の改善」
建物・設備	駅前の活性化、涼しさを前面に出したイベントの開催、お店が少ない、若い観光客が少ない、川のスポーツをする人を呼び込む、図書館の閉館時間が早い 等	「商店等の建物・設備が少ない」
小野川	小野川をもっときれいに、小野川以外の町並み 等	
遊び場	遊ぶところが少ない、公園が少ない、遊具も少ない 等	
その他	一方通行が多い、排他的、IT人材が少ない、Wi-Fiが少ない、観光、成田空港に近いが観光客が佐原には来ない 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「第二次産業（農業の振興）」「働く場所が少ない」「人口減少」「農業・商業・後継者の不足」「発信力が弱い」「起業支援」「観光地の改善」「商店等の建物・設備が少ない」の8つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「第二次産業（農業の振興）」「働く場所が少ない」「人口減少」「農業・商業・後継者の不足」「発信力が弱い」「起業支援」「観光地の改善」「商店等の建物・設備が少ない」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか各グループにて意見交換し、以下の通りまとめました。

本分野に関しては、全般的に市内外に対するPRや広報活動などプロモーション活動の必要性や観光や農業をもっと強くするためのアイデアが出されました。

課題①：第二次産業（農業の振興）

目指すべき姿		農業を生かせる第二次産業を生み出す
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	後継者の育成：農業に興味がある人を呼ぶ。
団体	—	農業の法人化：農地を活性化させる。
企業	—	ITを取り入れたスマート農業：法人化に向けての協力を依頼する。
行政	—	税制システム：多古町と連携する。

課題②：働く場所が少ない

目指すべき姿		働く場所を増やす
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	幼い頃から農業に触れる。
行政	—	企業誘致を行う。

課題③：人口減少

目指すべき姿		人口の自然増加
主体	主体（詳細）	できること
市民	芸術家、アーティスト等	「住むのは香取、働き先は都心」スタイル：現状を維持する。
団体	—	成田より土地が安いことを売り出す。
行政	—	大学誘致を積極的に行う。 外国の人も移住しやすいような政策を講ずる。

課題④：農業・商業・後継者の不足

目指すべき姿		農業・商業・後継者が豊かな街へ
主体	主体（詳細）	できること
団体	観光協会、商工会、農協	農業の良さをアピール：メディア発信、SNS を積極的に活用する。
行政	学校	農業を教育に活かす。
	国、千葉県、香取市	補助金を出す。

課題⑤：発信力が弱い

目指すべき姿		農業品のブランド化が進む
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	イベントの参加を通して理解を深める。
企業	農業関連団体・企業など	生産者、企業の連携を図ることができるような枠組みを設ける。 生産者への周知を目的として、情報提供を行う。
行政	香取市	積極的なPRを行い、補助金を出す。

課題⑥：起業支援

目指すべき姿		起業しやすい環境をつくる
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	にぎわいの創出に携わる。
企業	地元企業	経営支援、指導を行う。
行政	香取市	使いやすい支援制度を設ける。場所を提供する。

課題⑦：観光地の改善

目指すべき姿		観光客が来たくなる街づくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	商店	観光客へのあいさつ、声かけを積極的に行う。
団体	観光協会、商工会	定休日のローテーションを導入する。
行政	国、千葉県、香取市	駐車場、公衆トイレ、ゴミ捨て場を整備する。

課題⑧：商店等の建物・設備が少ない

目指すべき姿		買う場所・遊ぶ場所がたくさん
主体	主体（詳細）	できること
市民	小学生など	青空市への参加：手作りのものを市場・フリマで売る。
企業	商店	営業時間を長くする。
行政	香取市	青空市の実施：佐原・小見川エリアで、場所を貸して、市場やフリマを開催する。

2. 生活・環境の向上

「生活・環境の向上」においては、自然環境、脱炭素、環境美化、公害、廃棄物、公園、水辺空間、交通安全、防犯、防災、救急、人権、男女共同参画、LGBTQ+などの分野をテーマに延べ2グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「生活・環境の向上」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、豊かな自然が残っていることや地域のつながりが強いこと等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として、利根川の氾濫等による水害への対策、災害発生時の対応（緊急車両の通路の確保や情報収集等）、公園のトイレや生活排水などの衛生面の問題等多岐に渡る課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
自然の豊かさ	自然が豊か、防災マップ、星が見える、水の駅（水辺空間）、空気がきれい、利根川の恵み 等
人の良さ	人が親切、助け合いの意識が高い、見守り意識が高い、干渉がない 等
地元愛の強さ	地元愛が強い、シビックプライド、神社のお掃除 等
その他	香取神宮 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
利根川	自然エネルギー、大河が近い、利根川の氾濫が心配である、利根川下流域の整備、ジャンボタニシ 等	「利根川の河川政策」
道路事情	道路が狭い、凸凹している、狭く緊急車両が通りにくい、道路標識がわかりにくい、歩道が少ない 等	「道路事情の改善」
防災に強いまちづくり	市域が広すぎる、市内のアクセスが悪い、道路が狭い、交通事故、不法投棄、市街で働く人が多い、夜出歩くのが怖い、人が少ない、防災対策が悪い 等	
自然環境	水害が怖い 等	「水害への備えが不十分」
情報伝達	市民団体の連携・情報共有、情報が取得しにくい 等	「情報伝達が悪い（防災）」
その他	花粉症が多い、住宅が密集している、住宅が古い、高齢者の多さ、佐原の町並みをもっと活用できる、空き家問題、空き家バンクが機能していない、川の水をきれいにしたい、生活排水が適切に処理できていない、公園のトイレが汚い、多目的なトイレが欲しい、公園管理が悪い（ゴミ箱等） 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「利根川の河川政策」「道路事情の改善」「水害への備えが不十分」「情報伝達が悪い（防災）」の4つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「利根川の河川政策」「道路事情の改善」「水害への備えが不十分」「情報伝達が悪い（防災）」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか各グループにて意見交換し、以下の通りまとめました。

本分野に関しては、災害発生時に備えて平時から市民、団体、企業、行政のそれぞれがやるべきことについてのアイデアが出されました。

課題①：利根川の河川政策

目指すべき姿		自然を生かした治水・防災対策
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	利根川につながる川を含めた河川清掃 植林の協力：自然を生かして植林する。
団体	民間組織	桜並木を植林：自然を生かして植林する。
行政	国、香取市	防災マップの作成：昨今の異常気象などに対処できるようにする。

課題②：道路事情の改善

目指すべき姿		子供から大人まで、観光客も安全に利用できる道路
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	ゴミ拾いを行う。
企業	—	安全や人命を優先し、安全な運転管理を行う。
行政	—	予算を増やす。 クラウドファンディングを実施する。

課題③：水害への備えが不十分

目指すべき姿		不安のない住み続けられるまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	どこに避難すべきか知る。
団体	自治会	防災対策について話し合う。
企業	地元企業	企業を避難所として活用する、行政と企業の両面から周知する。
行政	香取市	情報発信、災害時の指示を明確にする。 ペットも含む避難所の充実を図る。

課題④：情報伝達が悪い（防災）

目指すべき姿		災害弱者がとり残されないまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	近所への声かけ、地域の情報を知る。
団体	民生員・消防団、自治会	各種団体が連携して見回りを行う。
企業	地元企業	災害時の社員の管理や物資の協力・防災活動に協力する。
行政	香取市	様々なツールで情報をタイムリーに発信する。 車で地区をまわる。

3. 健康・福祉の充実

「健康・福祉の充実」においては、地域福祉、介護保険、地域包括ケア、高齢者福祉、子育て、保育、障がい者福祉、健康づくり、感染症対策、地域医療などの分野をテーマに延べ4グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「健康・福祉の充実」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、医療・福祉に関する環境の充実に関する肯定的な意見（施設が多い、対応が良い、補助があるなど）、自然環境の豊かさ、人の良さ、祭り文化の存在等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として公共施設の整備に関する問題（老朽化、統廃合、アクセスなど）や地域活動・コミュニティの重要性および担い手不足、その他にも高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援、地域医療など様々なトピックに関する課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
高齢者福祉	地域包括化の仕組みが良い、デイサービスが多い、リハビリ施設が多い 等
健康づくり	助け合って生きている、スポーツを行っている 等
自然環境	土いじりができる、虫がいる、空が広い、自然が豊か、都会にない環境、野菜がとれたて 等
子育て環境	子育てに関して市の受付の対応が良い、孤育てになりづらい、保育園が良い、待機児童がいない、保育園が広い、自然の中で遊べる、産婦人科 等
人の良さ	子どもがあいさつしてくれる、人が優しい、近所で子どもを見守る 等
祭り	文化、祭り、スポーツ、食文化 等
医療	高校生まで医療費補助、子どもの医療費 300 円、3 歳以上無償化、産科医院ができる 等
その他	通学バスが便利、町内会ネットワークが強い、高齢者ふれあいセンターが活発、ホテル・メダカ、自然が豊か、佐原県立病院による訪問看護が充実、移動販売がある、地域で子どもを見守る 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
公共施設	1か所にまとめすぎてお年寄りが大変、児童館が1か所しかない、学校統廃合しがち、保育所の老朽化、公共設備が汚い、バリアフリーが不十分 等	
地域活動	ボランティアの活動の認知度が低い、まちづくり協議会の活用・支援、縦割りの活動が多く横断的でない 等	
高齢者福祉	地域サロンが高齢者同士の支えあいに、高齢者の給食サービス、独居者、高齢者との交流、高齢者施設がもっと欲しい、介護予防、老人の多さ、デイサービスの充実 等	
安定した生活基盤	孤立防止、自宅で過ごす、一人暮らしの高齢者の増加、病院への送迎、生活の足、MaaS 等	「安定した生活基盤」
地域コミュニティ	地域で子育て、社会人になってから戻ってくるきっかけ、子どもを育てるお金、産業がない 等	「地域コミュニティ創出」 「子育て世代への経済支援」
少子化	少子化、小学生が年々減少している、若者が引っ越したいと思わない 等	「少子化」
学校・保育	給食費が無料でない、学校廃校、保育所が高い、児童保育ができない場所がある、子どもを産んだ後の施設の充実 等	「子供を産んだ後の子育て施設の少なさ」
障がい者福祉	街中に障がい者親子の集う場所が欲しい、障がい者への対応がまだ 等	
医療	市内で出産できない、市内に24hの小児科がない、産科ができて小児科がないと産めない、医療資源が乏しい 等	「安心して出産できる医療体制の乏しさ」
その他	間の世代がない、人口減少、少子化、母子手帳問題、高齢者の移動手段が不足、習い事で週3日市外、遊ぶ場所・公園が少ない、靴を買うところがない、産婦人科がない、町内会が形だけ、民生委員の不足、子どもが安全に遊べる遊び場がない 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「安定した生活基盤」「地域コミュニティ創出」「子育て世代への経済支援」「少子化」「子供を産んだ後の子育て施設の少なさ」「安心して出産できる医療体制の乏しさ」の6つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「安定した生活基盤」「地域コミュニティ創出」「子育て世代への経済支援」「少子化」「子供を産んだ後の子育て施設の少なさ」「安心して出産できる医療体制の乏しさ」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか各グループにて意見交換し、以下の通りまとめました。

本分野に関しては、子育てに関するアイデアが多く出され、地域コミュニティを強化し子育て世代を孤立させないようにすることや子育て支援施設の整備、さらには経済支援を行うことなどが挙げられました。

課題①：安定した生活基盤

目指すべき姿		すべての世代が安心して暮らせる
主体	主体（詳細）	できること
市民	異なる世代	世代間交流：相互で見守ることで孤立を防止する。
団体	—	送迎サービス：子供と高齢者の生活の足にする。
企業	—	テレワーク、ワーケーション：自由な働き方を推進していく。
行政	—	学校・企業の誘致：地域で子育てができるシステムを作る。 子育て支援の充実：子供手当の拡充を行う。

課題②：地域コミュニティ創出

目指すべき姿		誰でも参加できる場作り
主体	主体（詳細）	できること
市民		新しく来た人を受け入れる。
団体	香取市	イベントの実施：移住・定住者に向けてイベントを実施する。

課題③：子育て世代への経済支援

目指すべき姿		子育て世代への経済支援を強化
主体	主体（詳細）	できること
団体	NPO 法人	放課後児童クラブ、発達支援：各地域に設置する。
行政	香取市、千葉県	子育て世代に対する支援：給食費、保育料を負担する。

課題④：少子化

目指すべき姿		若者が住みたい街
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	「孤立させない」をテーマに：住民同士のネットワークを作る。
団体	自治会	多世代との交流：集会場を解放する。
企業	民間企業	雇用創出：娯楽施設を充実させる。
行政	香取市	子育て環境の整備：公園や保育所等を整備する。

課題⑤：子供を産んだ後の子育て施設の少なさ

目指すべき姿		子供を産んだ後の子育て施設の充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	個人 「親子サロンぐらんま」	一般の親子を対象：補助金をもらい、個人や私営で設備の提供を行う。
	社協 「おもちゃ図書館どんどんぐり」	障がいのある方、ない方、未就園児の遊び場：補助金をもらい、個人や私営で設備の提供を行う。
企業	—	小児病棟（入院施設）を誘致する。
行政	—	公園の設備の充実・遊休地の活用：遊び場に解放し有効活用する。 地域での子供の居場所づくり：女性が育児を最も負担に感じる月曜日も解放したり、親子で集えるサロン（母親に寄りそえるような場所）を開所する。

課題⑥：安心して出産できる医療体制の乏しさ

目指すべき姿		安心して出産できる医療体制の整備
主体	主体（詳細）	できること
行政	香取市、千葉県	県立佐原病院の機能拡充 小見川医療センターの機能拡充：産科、小児科の連携を図る。

4. 教育・文化の振興

「教育・文化の振興」においては、学校教育、給食、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ、歴史、文化、芸術などの分野をテーマに延べ5グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「教育・文化の振興」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、学校と地域のつながりの強さや学校数の多さ、水上スポーツが活発なこと、歴史・文化に触れる機会が多いこと、郷土愛が強いこと等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として公共施設の老朽化や利便性向上、学校教育の質向上、給食無償化、歴史文化資源の有効活用、伝統文化の後継者不足など多岐に渡る課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
学校と地域のつながり	学校と地域が身近、地域が子供を見守る姿勢が根付いている、近所づきあい、廃品回収に協力的 等
学校教育	公開講座、学校の多さ、機械類等の設備、スクールバス、パソコン教育の導入、高校が3つある、授業や部活で伝統芸能に触れる機会がある、高校が多い 等
青少年の育成	少年自然の家でのボランティア、スポーツ少年団、忠敬記念館、自然を活用したスポーツ、祭り 等
スポーツ	スポーツにおける子供たちの活躍、水上スポーツ（ボート・カヌー）、DeNA 栗飯原龍之介選手（プロ野球選手） 等
自然豊か	自然豊か、緑豊かな町である 等
歴史・文化	佐原の町並み、山車、町並みの中を登下校、文化協会の活動が盛ん、歴史的魅力のある町、香取神宮、伊能忠敬、芸術の発表の場が充実している、郷土愛の強さ、佐原の大祭、県外に誇れる場所が多数残っている、歴史を大事にしている、県内唯一のユネスコ認定 等
その他	児童館の先生が優しい、のんびりした雰囲気（山田地域）、方言かわいい、オンラインで図書利用が可能 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
少子化	子どもが少ない 等	
公共施設	美術館が欲しい、総合スポーツ施設がない、教育施設、環境の整備、学校設備の老朽化、学校の規模が小さい、公共施設の利用率の低さ、広い芝の広場が欲しい、図書館の開館時間を長くして欲しい、勉強できる場所が欲しい、子どもたちの遊び場不足、人が集まる場所がない、子どもが遊べる公園、地域交流が少ない、公園の管理がされていない（雑草が生えている） 等	「公共施設が少ない」
土地利用	土地利用、市街地整備、町並み整備 等	「土地・水を生かした設備が必要」
学校教育	高校生にもタブレットが欲しい、高校数が少ない、学費が高い、校舎やトイレなどの学校の設備を新しくしてほしい、給食が美味しくない、給食を無償化して欲しい、学校のプールが汚い、教育に時間がかかる、お金がかかりすぎ、サポート・カウンセリングが少ない、部活の発表の機会が欲しい、生徒数の減少、近くの学校との交流がない、廃校の活用、学校の開放、空き校舎の利用 等	「学校の教育設備が古い・不十分」 「生徒数が少ない」 「学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）」 「学校教育（給食がおいしくない）」
通学	通学路の整備をして欲しい、電車の本数を増やしてほしい 等	
古い価値観	アナログ重視、大人のアップデートができていない 等	「文化・歴史の弊害」 「アナログ重視文化」
事業支援	個人事業主のサポート、大学（サテライトでも）、テレワーク、ワーケーション 等	
遊び場	子どもたちの遊び場不足、人が集まる場所がない 等	「場所の有効活用」
歴史・文化	歴史の伝承、芸術鑑賞の機会の少なさ、祭り、継承者の不足、歴史をもっと目立つように発信するべき、伊能忠敬館がつまらない、歴史や文化に対するプライドが足かせ 等	「歴史文化資源の活用」
その他	ボランティアがあまり役に立っていない、祭礼の参加のしにくさ、観光資源の活用、悩み相談先がない、学生と街のつながり不足、コミセンが利用されていない、他団体の成功事例を収集していない、市の方向性がわからない 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「公共施設が少ない」「土地・水を生かした設備が必要」「学校の教育設備が古い・不十分」「生徒数が少ない」「学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）」「学校教育（給食がおいしくない）」「文化・歴史の弊害」「アナログ重視文化」「場所の有効活用」「歴史文化資源の活用」の10課題が抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「公共施設が少ない」「土地・水を生かした設備が必要」「学校の教育設備が古い・不十分」「生徒数が少ない」「学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）」「学校教育（給食がおいしくない）」「文化・歴史の弊害」「アナログ重視文化」「場所の有効活用」「歴史文化資源の活用」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか各グループにて意見交換し、以下の通りまとめました。

本分野に関しては、学校をはじめとした公共施設の利活用や教育現場における相談等のサポート体制の充実、学校給食の味の改善、歴史・文化資源の利活用、伝統に縛られない各主体を巻き込んだ新しい取組の推進等に関するアイデアが出されました。

課題①：公共施設が少ない

目指すべき姿		公共施設を充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	利用者1人ひとり	積極的に利用してもらう。
行政	香取市	計画的な整備を行う。

課題②：土地・水を生かした設備が必要

目指すべき姿		水上スポーツなどの活性化
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	今あるスポーツ設備を使う。
団体	学校	授業で町並みに触れる機会をつくる。写生など町並みを教育に活かす。ウォークラリーを行い、町並みを活かしたスタンプラリーなどを実施。
企業	動画配信企業など	ウォークラリーを行い、商品無料券などを配る。大規模動画配信イベントと小野川沿いでコラボする。
行政	香取市	あやめ祭や水上スポーツなど水を活かしたイベントを開催する。体育館など、気軽に借りることができるような体制を作る。スポーツ施設を個人へ貸し出せるようにする。

課題③：学校の教育設備が古い・不十分

目指すべき姿		教育設備の充実
主体	主体（詳細）	できること
企業	—	体育館・グラウンドなどの施設を開放してもらう。
行政	学校	図書館の夜間営業：学生が放課後も有効活用できるようにする。冷暖房の充実：学生がエアコン・ストーブをいつでも使えるようにする。トイレの洋式化：和式トイレで水が流れないなどの不十分な点を改善する。

課題④：生徒数が少ない

目指すべき姿		生徒数の増加
主体	主体（詳細）	できること
市民	生徒	要望・意見を発信する。
企業	—	雇用拡大：事業の拡大を図る。
行政	千葉県	魅力アップ：施設の改修、制服の改良、特色のあるカリキュラムの設定、積極的なPRの実施に取り組む。

課題⑤：学校教育（サポート・カウンセリングが少ないことについて）

目指すべき姿		サポート・カウンセリングの充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	子供の家	学校外で多世代交流の場を設ける。
団体	—	部活動に関して、地域の方と連携し、サポートしてもらう。
行政	香取市	市の担当者による悩みごとの相談場所を設ける。

課題⑥：学校教育（給食がおいしくない）

目指すべき姿		子供が笑顔で食せる給食
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	生徒たちへのアンケート：生徒をお客様だと思っでの意見収集を行うとともに、学校開放デーで給食の試食を実施する。
企業	地元の農家	農家との直での食材の搬出：フードロスとなっている食品を提供してもらえないか交渉する。
行政	香取市	地産地消：香取市の農業ブランドをもっと活かす。 財源の確保：給食費の無償化を目指す。

課題⑦：文化・歴史の弊害

目指すべき姿		行政の透明性
主体	主体（詳細）	できること
市民	空き家をもっている人	空き家バンクに登録し、活用してもらう。 よそから来た人に welcome 感が少ないため、対面での交流の場を設ける。
団体	商工会議所	歴史にとらわれずに、取組を展開する。
行政	—	先進的な取組を行っている企業と連携する。

課題⑧：アナログ重視文化

目指すべき姿		0 ベースから再構築
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	行政へ声をあげる：市民と行政がつながれる窓口をつくる。
団体	—	ワークショップの場を設ける。
企業	—	市の窓口多様化を提供する。 移住者と交流する。 ZOOM 等を活用し、協業ビジネスを生む。
行政	香取市	窓口のデジタル化を進めるとともに、ZOOM、LINE を活用する。 多世代交流ができる、ブレインストーミング、ワールドカフェ方式の場を設ける。 包括支援センターや保健師などは産業医活動等を企業と連携する。 儲けることができる市役所になる。

課題⑨：場所の有効活用

目指すべき姿		地域の活性化
主体	主体（詳細）	できること
行政	—	廃校の活用：子供が遊べる公園を増やしたり、シェアオフィスなどに活用する。

課題⑩：歴史文化資源の活用

目指すべき姿		歴史文化資源の再発見
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	自分のまちを好きになる。 文化の伝承・デジタル化を行う。
団体	—	資源を活用したイベントを実施する。

5. 都市基盤の整備

「都市基盤の整備」においては、都市計画、土地利用、町並み、市街地整備、空き家、住環境、道路、河川、公共交通、上下水道などの分野をテーマに延べ6グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「都市基盤の整備」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、自然の豊かさや佐原の町並み（歴史ある町並みと生活の共存）、のどかで住みやすい住環境、小見川地域の住宅増加、利用できる土地の多さ、道の駅が存在等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として空き家・空き地の増加や道路事情の悪さ（道幅が狭い、舗装がされていない、通学路が整備されていない等）、公共交通の不便さ（電車・バスの本数の少なさ、路線が通っていないエリアの存在等）、上下水道の老朽化等の課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
自然豊か	自然とコラボできる、利根川がある、二十四節気を感じる土地 等
歴史・文化	佐原の町並み、香取神宮等の歴史的価値 等
町並み	歴史ある町並みと生活の共存、古い建物を保管・維持している、古民家ホテル、重要伝統的建造物保存地区の町並み、佐原の町並み、歴史がある、イノベーション、観光客の増加 等
住環境	のどかで住みやすい、住環境、道路、町並みがきれいに残されている、小見川の方面に新しい家が建ってきている 等
空き家・土地の活用	土地が広い、駅前に空き地がたくさん 等
道路事情	歩道が歩きやすい、道路整備、メイン道路がある、道の駅が2つある 等
その他	地産地消、高齢者に優しいまちづくり、地震が起きても水を汲める場所がある、田畑を体験式にしている、住環境、自然が多い、井戸水が出る場所が多い、住環境、地域コミュニティが必然 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
商業	市街地の衰退、コンビニが少ない 等	
遊び場	公園がない、ベンチなどがない、娯楽が年配者向けのものばかり 等	
財政	財政支出の塩梅が雑、老人主体の財政予算 等	
住環境が 不便	佐原以外整っているイメージがない、市街地整備、シャッター通り、自然を生かしたい、農地の利用方法、大きなスーパーがない、法人の誘致、営業倉庫、やりっぱなし行政、都市部への人口流出 等	「街の整備」 「住環境が不便」
空き家・土 地の活用	空き家が多い、空き家が増え火災が怖い、空き家情報の発信がない、土地の有効利用、河川が荒れている（雑草）、河川沿いのガードレールなどの設置、すぐに借りられない、空き地の草・倒木 等	「空き家が多い」 「空き家・空き地の増加」 「空き家問題」
道路事情	幹線道路網整備、幹線道路等の幅が狭く歩道が少ない、歩道の整備、舗装されていない、ミラーの設置方法、道の駅周辺の交通量の多さ（土日）、道路整備が不十分、通学路の整備、一方通行の道路が多い、避難所までの道が狭い、自転車がこぎにくい、信号の変わる時間が早い 等	「道路が不便」 「道路整備が不十分」
公共交通	公共交通が不便、電車・バスの本数が少ない、都内からのアクセスが1～2時間、高速バスの本数が少ない、バス利用者が少ない、公共交通が市内全域に網羅されていない、高齢者の移動手段、山田・栗源・加藤洲から市役所に行くのが大変、観光地が離れている、主要道路が少ない、バス乗り場が観光客にわかりにくい、サークルでの移動が不便、佐原・小見川の街なかの道が狭い 等	「道路が不便、交通の便が悪い」 「公共交通機関が不便」 「移動手段が少ない」 「交通機関が不便」
上下水道	水道料金が安い、上下水道の老朽化、上水道100%にして欲しい、上水道の今後、上下水道のない地区 等	
その他	河川防災、住環境（税金）、太陽光パネル以外の活用、佐原以外活かされていない、5G、土地代が高い、町並み、お店問題、公園が少ない（サッカーができるような大型公園）、下水流の処理区域が少ない、駐車場がない、市街が衰退、橋が少ない、小野川の水質改善 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「街の整備」「住環境が不便」「空き家が多い」「空き家・空き地の増加」「空き家問題」「道路が不便」「道路整備が不十分」「道路が不便、交通の便が悪い」「公共交通機関が不便」「移動手段が少ない」「交通機関が不便」の11課題が抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「街の整備」「住環境が不便」「空き家が多い」「空き家・空き地の増加」「空き家問題」「道路が不便」「道路整備が不十分」「道路が不便、交通の便が悪い」「公共交通機関が不便」「移動手段が少ない」「交通機関が不便」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか各グループにて意見交換し、以下の通りまとめました。

本分野に関しては、市民が主体的にまちの魅力を発信することや適正管理・マッチングによる空き家・空き地の解決のほか、電車・バス本数の増加だけでなく、多様な主体と協力した交通体系の構築等、公共交通の利便性向上のためのアイデアが出されました。

課題①：街の整備

目指すべき姿		街の人がこの街の魅力を話せる
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	街を紹介した小冊子を作る。 何もかも新しくすればよいわけではない、古き良き文化を大切に する。 学生がオンラインやインスタを活用して、小冊子を作成する。
企業	—	ポップな小冊子（フリーペーパー）を作り、街の特長を自社につ ながりがあるところへ発信する。
行政	—	主体的にやっていくトップダウン お金をかけず、まずやってみる精神で取り組む。 古い建物を保存していく。 インターネットプラットフォームを活用したコミュニティづく り：Facebook などを用いて香取市住民のコミュニティを作る。

課題②：住環境が不便

目指すべき姿		自分自身が住みやすいまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	ボランティアに参加する。
団体	ボランティア団体	市の良い点を周知する、住みやすさをアピールする。
行政	香取市、千葉県、国	中心市街地の活性化、まちのにぎわいを取り返す。

課題③：空き家が多い

目指すべき姿		空き家・土地の活用
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	空き家になる前に行政へ相談
団体	—	空き家の再利用・商業化
行政	香取市、国	情報発信：空き家（土地）の積極的な売却を行う。

課題④：空き家・空き地の増加

目指すべき姿		空き家・空き地の有効活用
主体	主体（詳細）	できること
市民	空き家・空き地の所有者等	適正管理：相続を放置しない、空き家バンクへの登録を行う。
団体	自治会	空き家の把握：コミュニティの強化と手入れを行う。
企業	不動産業者等	空き家の流通：空き家を活用したい人とのマッチングサービスをつくる。
行政	香取市	空き家バンク：所有者相談窓口を充実させる。 廃校の利用：企業等へアプローチする。

課題⑤：空き家問題

目指すべき姿		空き家を有効に活用する
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	空き家バンクへの登録を行う。
行政	—	空き家バンク：農地と土地セットで空き家情報を更新するとともに、市のホームページを積極的に活用する。

課題⑥：道路が不便

目指すべき姿		道路整備（歩道）
主体	主体（詳細）	できること
市民	道路沿いの住民	整備に必要な用地を提供してもらう。
行政	香取市、千葉県、国	主体的に計画・実施を行う。

課題⑦：道路整備が不十分

目指すべき姿		安心・安全な通学路
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	危険個所の共有：SNSなどで発信する。
行政	香取市	道路整備：市民への呼びかけを行うとともに、計画的に道路を新設する。

課題⑧：道路が不便、交通の便が悪い

目指すべき姿		道路の整備、交通の便を改善
主体	主体（詳細）	できること
企業	鉄道会社、バス会社	観光客を増やし電車・バスの便を増やす。
行政	国、千葉県、香取市	歩道・ミラーの整備を行う。 道路の拡幅を行う。

課題⑨：公共交通機関が不便

目指すべき姿		公共交通機関の充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	利用者1人ひとり	積極的に利用する。
企業	JR、バス会社	ダイヤ改正：本数の増加を図る。

課題⑩：移動手段が少ない

目指すべき姿		移動困難者を取り残さないまちづくり
主体	主体（詳細）	できること
市民	利用者1人ひとり	公共交通を利用する。 アンケートなどを通して、ニーズを共有する。
団体	市民活動団体、 ボランティア団体	行政と連携し、せまいエリアでの送迎を実施する。
企業	地元企業 (タクシー・バス会社)	利用しやすいダイヤの改正、夜も利用しやすい送迎車を実装 ゴルフ場、病院での送迎を活用する。
行政	国、香取市	公共交通を充実させる、理解しやすいルートを確認する。 団体と連携し、広いエリアでのルートを確認する。

課題⑪：交通機関が不便

目指すべき姿		交通機関の充実
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	近所の人を乗せる：車での送迎など近所の移動支援を行う。
団体	NPO 法人	生活支援、移動支援ボランティア：ドライバーを確保する。
行政	—	法人の広報を行う。

6. 市民参画・行政の取組

「市民参画・行政の取組」においては、市民協働、地域コミュニティ、国際交流、多文化共生、地域連携、広報・広聴、シティプロモーション、行財政改革などの分野をテーマに1グループにて意見交換していただきました。

(1) 第1ラウンド「香取市の強み・魅力、弱み・課題」

「市民参画・行政の取組」における香取市の強み・魅力、弱み・課題に関して、特に多い意見を抽出し、その結果をまとめたものは以下の通りです。

「強み・魅力」として、地域のつながりの強さに関する意見（まちづくり協議会、自主防災意識の高さ、自治会組織率の高さ）や佐原の大祭（大祭に向けた市民の団結）等が挙げられています。

その一方で、「弱み・課題」として地域活動やボランティアの高齢化や後継者不足、各地区の連携不足、サロンなどの交流機会の創出、自治会の活性化等に関する課題について、指摘する意見が多くありました。

<強み・魅力>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要
地域の つながり	各集落・地区の団結、地域単位の住民自治、助け合いの心、まちづくり協議会、行政主導の地域の集い場、自主防災意識の高さ、自治会の組織率の高さ 等
観光・お祭り	インバウンドへの対応、交流人口増加に向けたイベントの多さ、佐原の大祭、観光資源の多さ、大祭への市民の団結した参加意識 等
その他	成田空港の近さ 等

<弱み・課題>

キーワード (大分類)	付箋内容（個別意見）の概要	抽出された 重要課題
後継者不足	自治会の役員の成り手がいない、ボランティアの後継者不足、市民団体同士の横のつながり、高齢化が進んでいる 等	「後継者の不足」
地区連携の 不足	各地区の連携が不足している、旧4市町の足並みが揃っていない、都市部の権力者に牛耳られている 等	「各種団体の連携不足」
交流の場を 充足	女性の活躍の場、婚活（無料） 等	
サロン	サロンに代わる集まり、サロンの参加者数の低迷 等	
自治会	若い人の役員登用、役員の行動力がない 等	
施設	総合グラウンドや武道館がない（室内競技） 等	
その他	子どもが少ない、車を使わないと不便、フィルムコミッション 等	

以上のような内容を踏まえて、重要課題として「後継者の不足」「各種団体の連携不足」の2つが抽出されました。

(2) 第2ラウンド「理想のまちにするためにできること」

第2ラウンドにおいては、先述した重要課題「後継者の不足」「各種団体の連携不足」に対して、「目指すべき姿」を設定したのち、どのような対応策が考えられるかを検討しました。対応策としては、市民、地域、団体、行政等、幅広い視点で、それぞれの主体が何をできるか各グループにて意見交換し、以下の通りまとめました。

本分野に関しては、市民一人ひとりが積極的にイベントに参加することや自分事として捉えて活動すること、団体間の横のつながりを構築すること、行政が旗振りを行い各種団体の一体感を醸成すること等といったアイデアが出されました。

課題①：後継者の不足

目指すべき姿		多世代の共生
主体	主体（詳細）	できること
市民	—	もっと積極的にイベントに参加する。 自分ごとにとらえて参加する。
団体	—	横のつながりを密にする。
行政	—	横のつながりを持つ。 子供を産む前の子供支援を充実させる。

課題②：各種団体の連携不足

目指すべき姿		区の枠組みを外す（旧市町）、市として一体的に取り組む
主体	主体（詳細）	できること
市民	市民1人ひとり	意識の改革を行う。
団体	—	個々の取組から連携した取組へ移行する。
行政	—	行政が積極的に発信し、一体感を醸成する。

Ⅱ 第2回 かとりみらい会議

(2022年8月21,24日実施)

第1章 実施概要

1. 目的・活用方法
2. 実施日時・場所
3. 参加者
4. プログラム内容

1. 目的・活用方法

香取市で暮らす幅広い年齢層の市民の皆様から多様な意見を聴取し、第2次香取市総合計画後期基本計画の内容に反映することを目的として、ワークショップを開催しました。具体的な反映箇所としては、「施策の展開」「現状」「主な課題」「市民・地域への期待」等の項目に反映することを想定しています。

現行計画(香取市総合計画前期基本計画の各施策ページ)※

**本日の会議結果
の活用方法**

- 「施策の展開」の“取り組み方針”に反映
- 「現状」「主な課題」に反映
- 「市民・地域への期待」に反映

1-4 商工業

5年後の目指す姿

取組の成果を測る指標

指標名	指標説明	2017年値	2020年	2025年	2030年
高付加価値製造業割合	高付加価値製造業の割合を向上させることにより、経済成長の持続性を高める。	17.4%	17.4%	17.6%	17.6%
製造業の雇用維持率	製造業の雇用維持率を向上させることにより、雇用の安定性を高める。	—	99%	99%	99%

現状

主な課題

施策の展開

市民・地域への期待

※第2次香取市総合計画後期基本計画では、前期基本計画からレイアウトや項目が変更となる可能性があります。
 ※上述したイメージは、聴取した意見を現行計画上のどの項目に該当するかを表しています。

2. 実施日時・場所

(1) 日時

DAY1：2022（令和4）年8月21日（日）10:00～12:00

DAY2：2022（令和4）年8月24日（水）18:30～20:30

※幅広い市民等の方に出席いただくため、曜日・時間帯を変え2回実施しました。

※1回目、2回目ともに、同じプログラムで実施しています。

(2) 場所

香取市役所 5階 会議室

3. 参加者

第1回かとりみらい会議にご参加いただいた方に引き続き参加いただき、第1回とは違った視点から議論をいただきました。また、第1回と同様に会議にはプロジェクトチームメンバーも参加しました。

(1) 参加者数

1回目：高校生10名、市民の方13名、香取市職員（プロジェクトチーム：7名※）

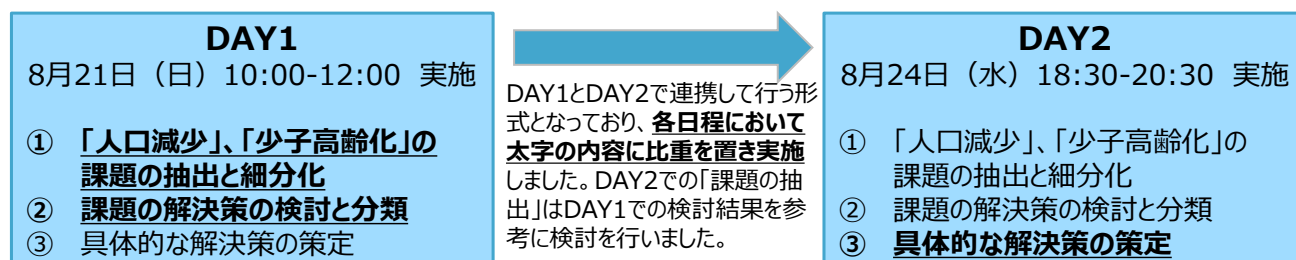
2回目：市民の方16名、香取市職員（プロジェクトチーム：10名）

※第2次香取市総合計画後期基本計画を策定するにあたり、特定テーマの研究、先進事例等の研究や今後の施策立案を検討する際の中心となる香取市職員の選抜メンバー

4. プログラム内容

プログラムの全体設計としては、香取市の最重要課題である「人口減少」、「少子高齢化」への対応策について、8月21日（DAY1）に参加していただいた方と、8月24日（DAY2）に参加していただいた方が連携して検討を行う形式で実施しました。

8月21日（DAY1）は「①課題の抽出と細分化」、「②課題の解決策の検討と分類」に重きを置き、「③具体的な解決策の策定」まで実施しました。8月24日（DAY2）では、DAY1の①②の結果を踏まえ、「③具体的な解決策の策定」を重点的に実施しました。



まず、第1回かとりみらい会議の結果を踏まえた計画策定の状況や当日の進め方など事務局説明を行いました。その後、1グループ5～7名として5グループを作り、テーマに沿ってグループワークを行いました。最後に、各グループにおいて話し合った内容を全体共有する目的で発表の時間を設けました。

◆DAY1 及び DAY2 の具体的な実施内容・時間配分については以下のとおりです。



第2章 実施結果

1. 課題の抽出と細分化・解決策の検討と分類
2. 具体的な解決策の策定

本章では先述した DAY1 及び DAY2 のグループワーク結果について、「1. 課題の抽出と細分化・解決策の検討と分類」と「2. 具体的な解決策の策定」に分けてそれぞれ整理しています。第2回かとりみらい会議は8月21日（DAY1）に参加していただいた方と、8月24日（DAY2）に参加していただいた方が連携して検討を行う形式であることから、グループワーク結果についても2日間の内容が一つにまとめられています。（DAY1のAグループとDAY2のAグループで1つの検討結果としてまとめています。）

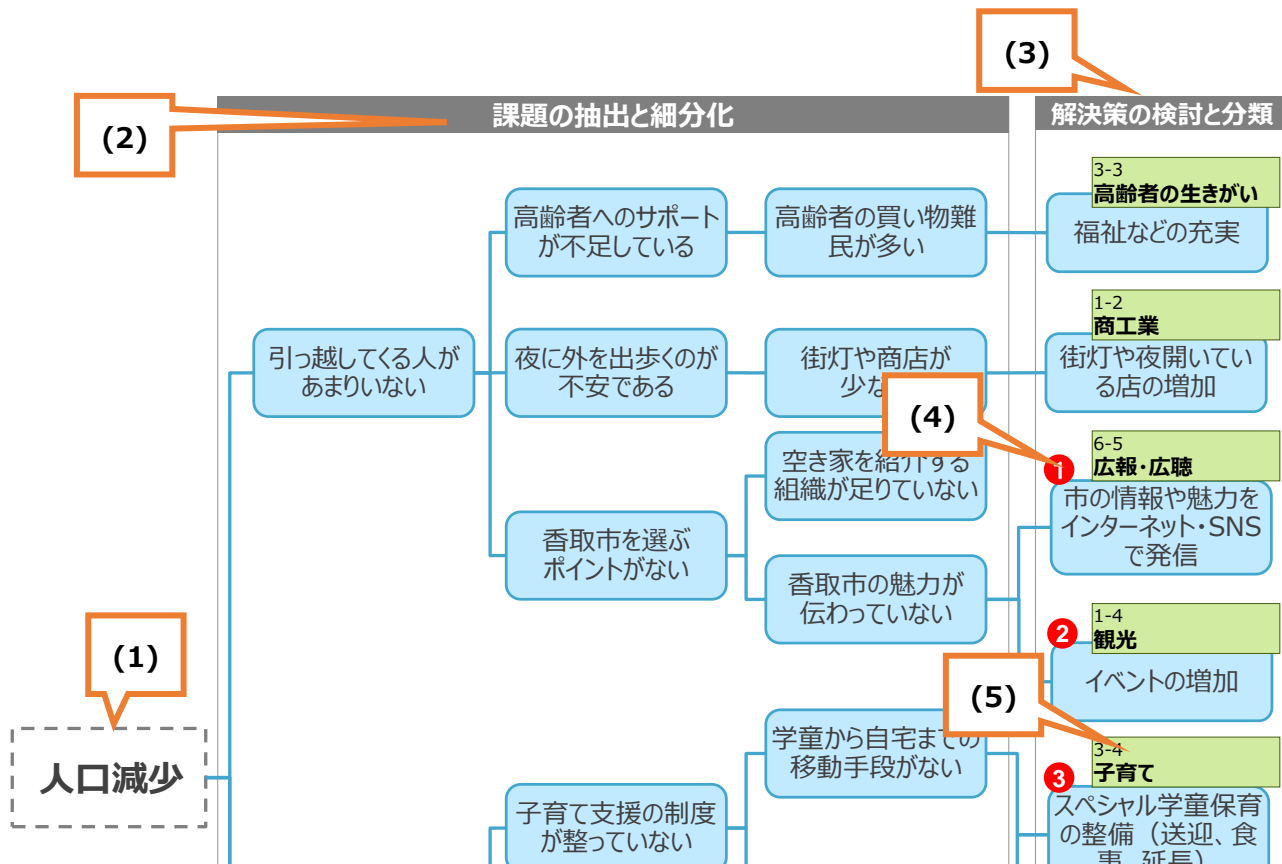
1. 課題の抽出と細分化・解決策の検討と分類

「課題の抽出と細分化・解決策の検討と分類」においては人口減少若しくは少子高齢化というテーマについて、課題の細分化、解決策の検討を行い、ロジックツリー形式で整理しました。

※ロジックツリーとは、様々な問題を木の枝が分岐するように分解することで、論理的に原因や解決法を導き出す思考方法及びその概念図のことをいいます。

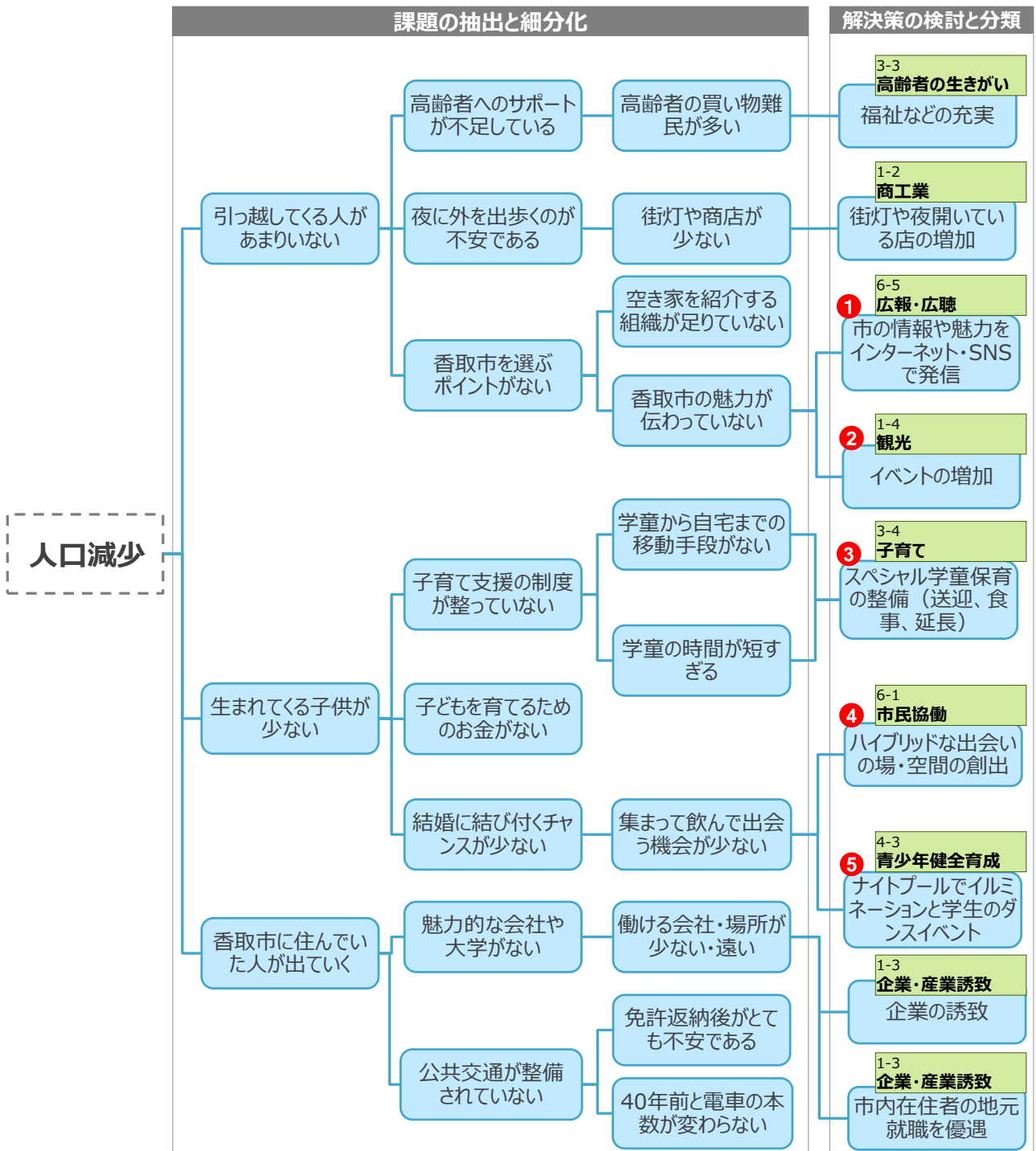
＜ロジックツリーの見方＞

- ・ (1)テーマ：本市の最重要課題である「人口減少」若しくは「少子高齢化」を選択
- ・ (2)課題の抽出と細分化：テーマで選択した最重要課題を要素ごとに分解したもの
- ・ (3)解決策の検討：「課題の抽出と細分化」で整理した課題に対する解決策
- ・ (4)解決策 No：「2. 具体的な解決策の策定」で具体化した解決策の通し番号
- ・ (5)施策分野：施策体系における解決策の位置付け



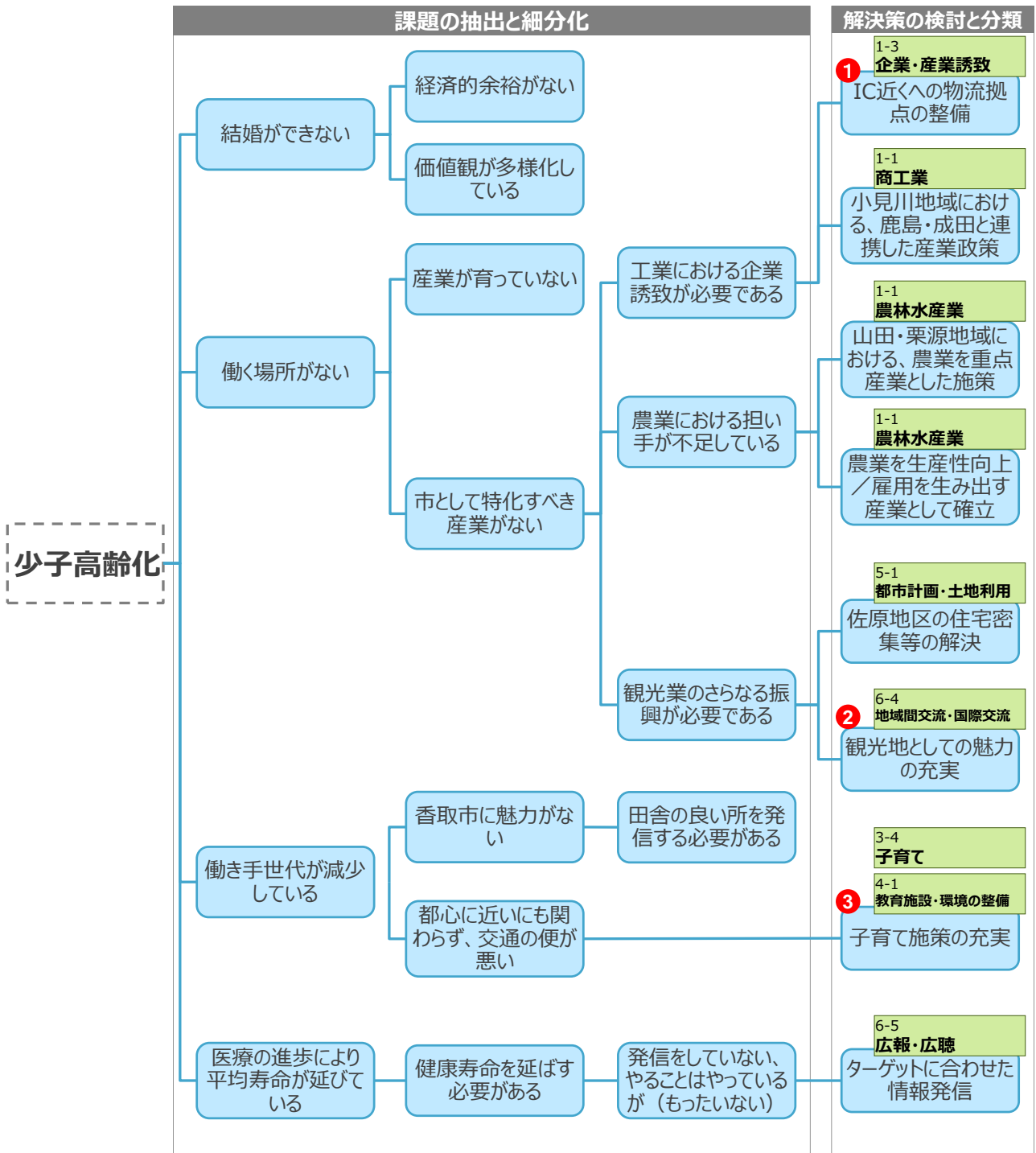
(1) グループ A (テーマ: 人口減少)

グループ A では、「人口減少」をテーマにグループワークを行いました。香取市の魅力が伝わっていないことや放課後児童クラブ等の子育て支援の不足、出会いの場の少なさなどが課題としてあげられました。また、解決策として SNS での情報発信や交流イベントの開催、放課後児童クラブの充実などが提案されました。



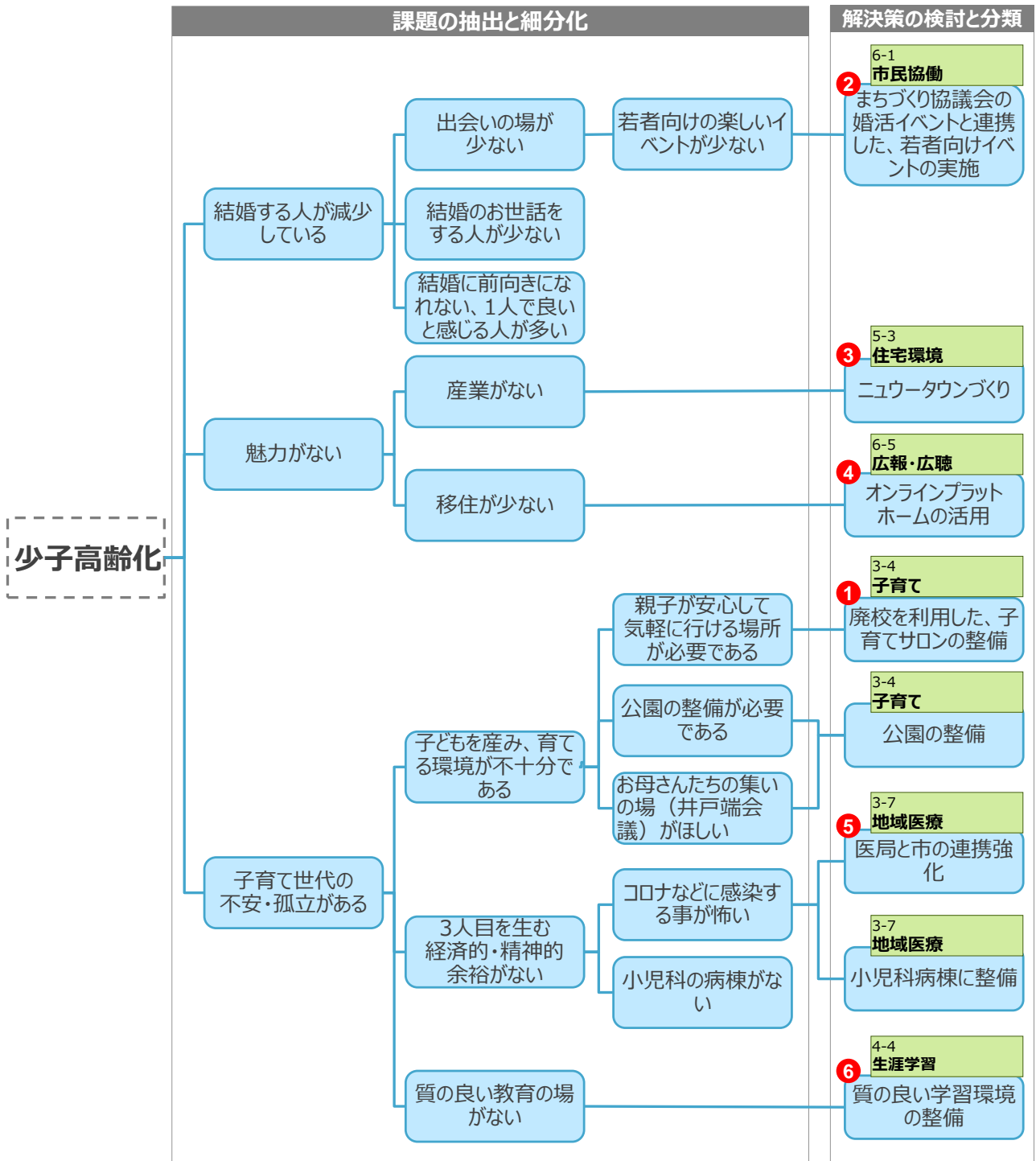
(2) グループB (テーマ：少子高齢化)

グループBでは、「少子高齢化」をテーマにグループワークを行いました。働き盛り世代が減少していることや観光業や工業における振興の必要性などが課題としてあげられました。また、解決策として子育て施策の充実やIC近くへの物流拠点の整備、観光地の魅力向上などが提案されました。



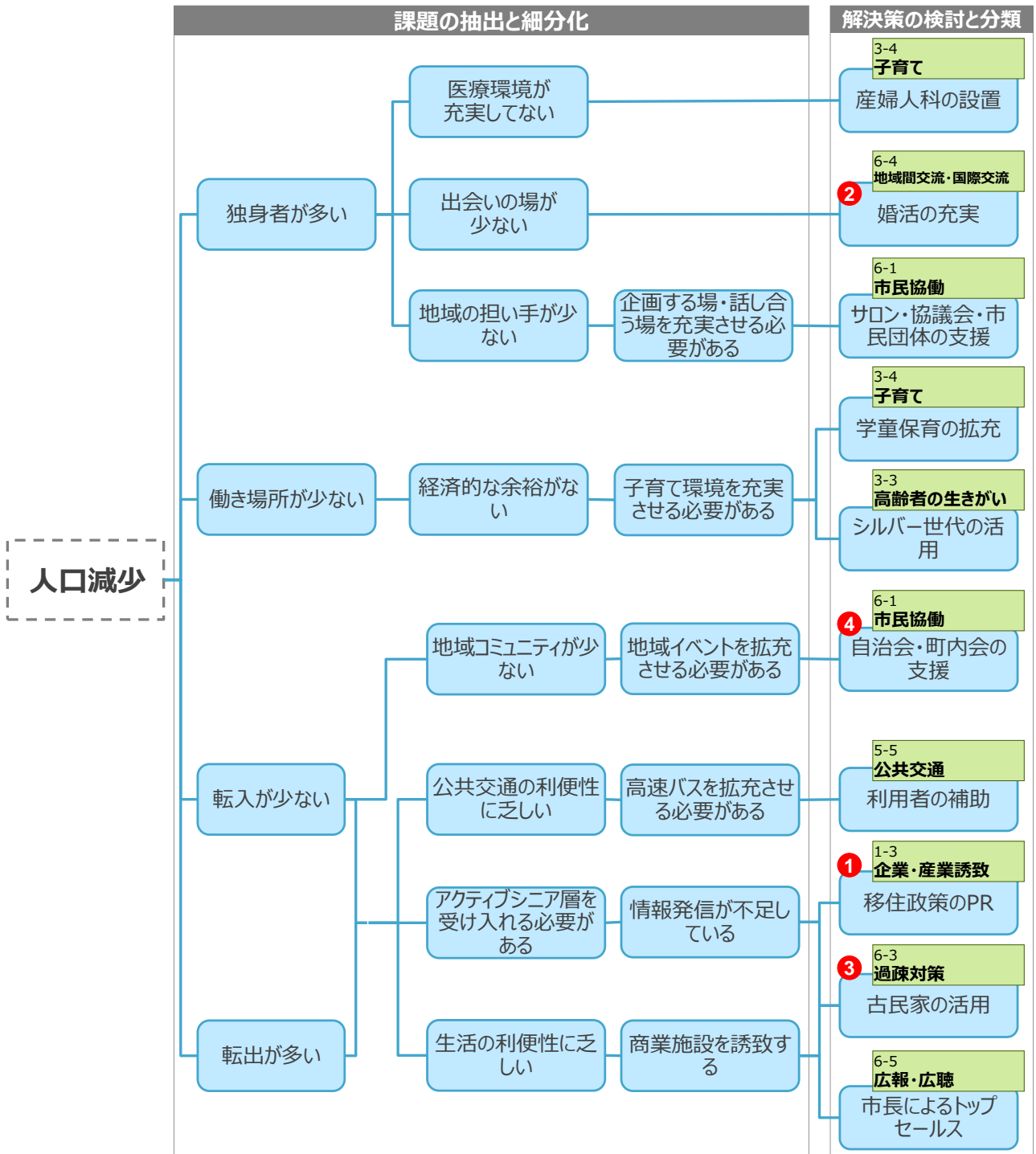
(3) グループC (テーマ：少子高齢化)

グループCでは、「少子高齢化」をテーマにグループワークを行いました。若者向けのイベントが少ないことや子連れで安心して過ごせる場所がないこと、小児科病棟がないこと、感染症への不安などが課題としてあげられました。また、解決策として廃校を活用した子育てサロンの整備やまちづくり協議会と連携した婚活イベントの開催、行政と病院の連携強化などが提案されました。



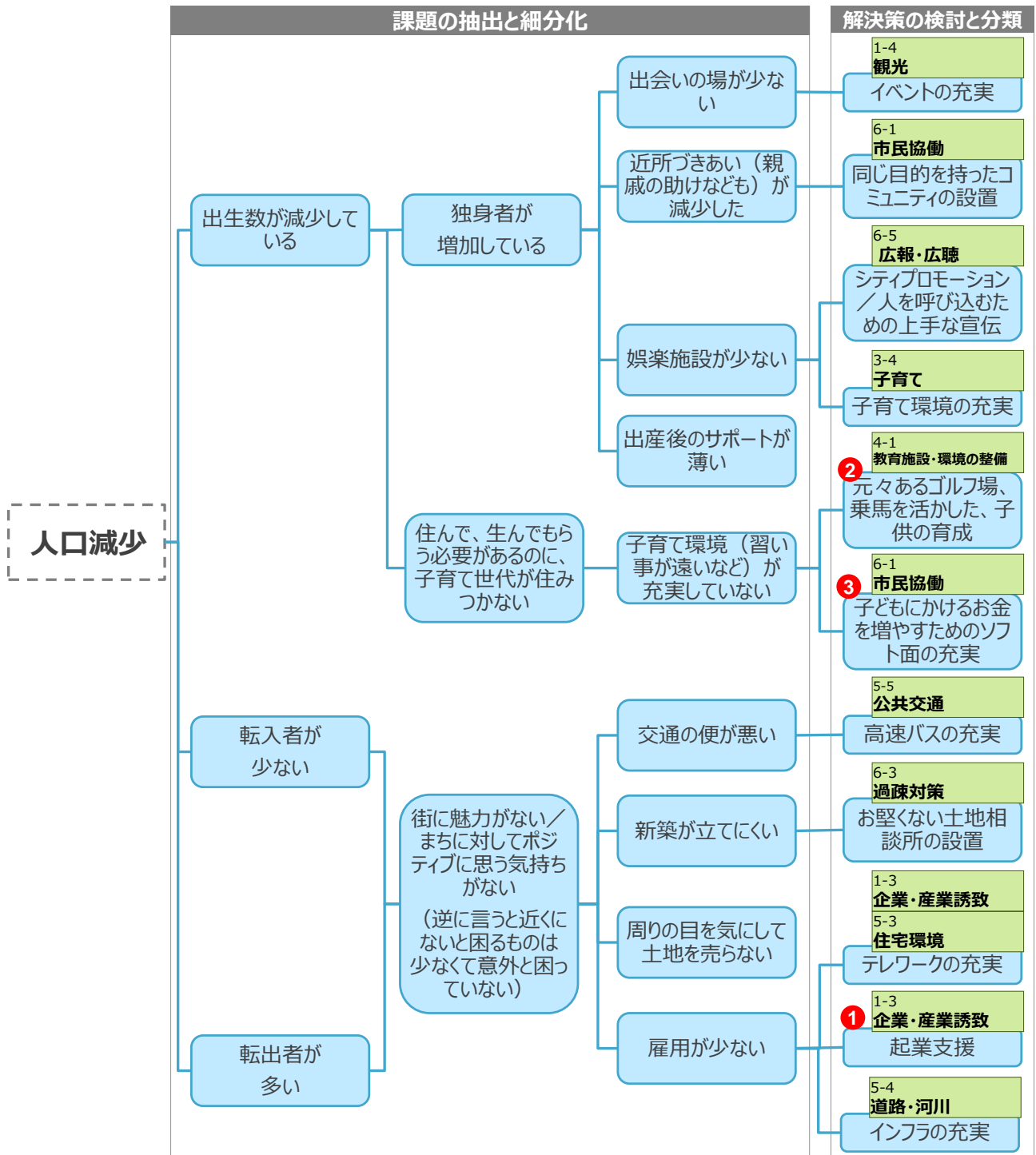
(4) グループD (テーマ: 人口減少)

グループDでは、「人口減少」をテーマにグループワークを行いました。出会いの場が少ないことや地域コミュニティの希薄化、情報発信の不足、商業施設の不足などが課題としてあげられました。また、解決策として婚活支援の充実や自治会・町内会の支援、移住政策のPR、古民家の活用などが提案されました。



(5) グループE (テーマ: 人口減少)

グループEでは、「人口減少」をテーマにグループワークを行いました。出会いの場が少ないことや娯楽施設が少ないこと、子育て環境が充実していないこと、雇用環境が充実していないことなどが課題としてあげられました。また、解決策としてシティプロモーションの推進や子育て環境整備、テレワークの促進、起業支援などが提案されました。



2. 具体的な解決策の策定

「具体的な解決策の策定」では、「課題の抽出と細分化・解決策の検討と分類」にてグループごとに整理した重要課題への対応策について具体的な内容を検討していただきました。

<解決策一覧表の見方>

- ・ No. : 解決策の通し番号
- ・ 施策分類 : 施策体系における解決策の位置付け
- ・ タイトル : 解決策の名称
- ・ なぜ : 当該解決策が必要である背景
- ・ いつ : 当該解決策を実施するタイミング
- ・ どこで : 当該解決策を実施する場所・機会
- ・ 誰が、何を、どうする : 当該解決策における主体別の役割・実施内容

(1) グループ A (テーマ: 人口減少)

本グループでは、人口減少というテーマについて、5つの解決策が提案されました。具体的には、SNSのフォロワー数が多い市民に協力してもらうなど情報発信に取り組むことや放課後児童クラブにおけるサービスの充実、夜間におけるイベントの開催などが検討されました。

No.	施策分類	タイトル	なぜ	いつ	どこで	だれが、何を、どうする
①	6-5 広報・広聴	市の情報や魅力をインターネット・SNSで発信	香取市に引っ越してくる人が少ないため。	常に	SNS	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の中でフォロワー数が1,000人以上の人をリストアップし、情報発信に協力してもらう。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> 民間企業(ホテル・キャンプ場などの魅力的な会社)が行政と連携して情報発信を行う。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> インフルエンサーが住みやすい市になるよう、インフルエンサーを呼び込むために条例を作る。
②	1-4 観光	花火イベントの増加	人が来る機会を増やすため。	秋ぐらい	利根川沿い(佐原に復活させる)	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> 市外から知り合いを誘う。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> 駅から遠いため、臨時バスを出す。
③	3-4 子育て	スペシャルな学童保育の整備	<ul style="list-style-type: none"> 学童の時間が短いため。 自宅まで送迎してほしいといったニーズが満たされていないため。 	土日問わず毎日	市内	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単な研修を受け、指導者になる。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> 体験メニューを提供する。 スポーツ団体がスポーツ指導者の派遣をおこなう。 飲食店が協力する。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設整備を行う。 バス・タクシー会社の協力。 飲食店に協力してもらう。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> バス・タクシー会社がスクールバスを出す等、送迎に協力する。
④	6-1 市民協働	ハイブリッドな出会いの場空間の創出	結婚に結びつくチャンスが少ないため。	夜、土日	複合施設のスペース	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> 独身者が会員登録をする。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> インストラクターや専門家の派遣(ワインソムリエなど)を行う。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> スポンサーとして協力する。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> 独身の市役所職員がデータベースを管理する。
⑤	4-3 青少年健全育成	公共プールでイルミネーションと学生のダンスイベント	イベントを増やすため。	夏季の夜	学校やB&Gのプール	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ダンスや演奏の発表をする。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> その道のプロを呼ぶ。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> イルミネーションやバルーンを提供する。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> 施設を提供する。

(2) グループ B (テーマ：少子高齢化)

本グループでは、少子高齢化というテーマについて、3つの解決策が提案されました。具体的には、インターチェンジ付近への物流拠点の整備、各種イベント等への若者の参加、子育て支援施設を地域差がないように整備することなどが検討されました。

No.	施策分類	タイトル	なぜ	いつ	どこで	だれが、何を、どうする
①	1-3 企業・産業誘致	インターチェンジ近くに物流拠点の整備	雇用を創出するため。	なるべく早急に	佐原香取インターチェンジ付近	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者の受入に協力する。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者の受け入れに協力する。 ・地元の活性化に貢献する。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元雇用を生み出す。市外から人を呼び込む。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺道路整備や渋滞解消に取り組むとともに、企業誘致を推進する。 ・各地域の特性を活かした産業振興に取り組む（小見川地区：工業拠点、山田地区・栗源地区：農業拠点、佐原地区：観光拠点）
②	6-4 地域間交流・国際交流	観光地としての魅力の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が来ても小野川沿いの飲食店等が休んでいることがあるため。 ・竹灯籠・竹あかりのイベントが短期間であるため。 	通年	小野川周辺、黒部川	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現状はおかみさん会が中心となって行っているが追加で、若い世代（大学生、中学生など）が片付けだけでも参加する。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐原だけでなく、山田・栗源・小見川などの幼稚園・保育園・小学校も巻き込んで参加してもらおう。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームラボ等がコラボする。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市がより積極的に関与する。
③	3-4 子育て、4-1 教育施設・環境の整備	子育て施設の充実	子供が喜ぶ施設がない、移住の魅力がないため。	すぐにも	市内各地偏りをなくす。佐原、山田、栗源、小見川で平等に	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な子育て支援施設について声をあげる。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自治会が子供会や地区の行事を行う。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店などチェーン店が展開する。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意見を集める場を設ける。

(3) グループC (テーマ：少子高齢化)

本グループでは、少子高齢化というテーマについて、6つの解決策が提案されました。具体的には、廃校を利用した子育てサロンの整備、婚活イベントの開催、ニュータウンの整備、質の良い学習環境の整備などが検討されました。

No.	施策分類	タイトル	なぜ	いつ	どこで	だれが、何を、どうする
①	3-4 子育て	廃校を利用した子育てサロンの整備	子どもを産み、育てる環境が不十分であるため。	なるべく早く	廃校となった校舎	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教員のOB OGに手伝ってもらおう。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前中に放課後児童クラブの方に運営してもらおう。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃校を整備する。 ・車のない家庭に対して、スクールバス等で送迎をする。 ・保険に加入する。
②	6-1 市民協働	若者向けの楽しい婚活イベント	若者の出会いの場が少ないため。	春(出会いの春)、秋	香取市の良い所をPRできるような自然豊かな場所、農業を活かせる場所	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントに積極的に参加する。 ・SNSにアップする。 ・積極的に周りに声をかけお節介者になる。 ・小江戸マラソンなど市外の人があるタイミングに合わせて、イベントを実施することで相乗効果を図る。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協議会と連携して、イベントをPRする。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加すると地元企業の特産品がプレゼントされるなど、地元企業とコラボイベントを行う。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを主催する。 ・安全面を考慮して、保険に加入する。
③	5-3 住宅環境	ニュータウンづくり	移住者が少ないため。	5年後までに	香取インターチェンジの近く	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地を提供する。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宅地を造成する。 ・住宅補助金を出す。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住する人に補助金を出す。 ・移住してもらえるようにRRする。
④	6-5 広報・広聴	オンライン・プラットフォームの活用	市の魅力が伝わっていないため。若者が来やすい環境になっていないため。		空き家、廃校(フリーwi-fiを整備しインターネットを使用したい人たちが利用できる環境をつくる)	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害がある人や寝たきりの人も参加できるようにする。 ・フォロワーの多い人やコミュニティマネージャーをやりたい人が情報発信する。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリー別に表や一覧を設け、協力体制を整備する。

No.	施策分類	タイトル	なぜ	いつ	どこで	だれが、何を、どうする
⑤	3-7 地域医療	医局と市の連携強化	小児科のかかりつけ医がないことや小児科外来医の出勤が週5回となっていることに対する不安が大きいため。		小見川医療センター	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療センター意見箱へ意見を投票する。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学医局、各医師会、学校医が連携を強化する。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学がへき地医療区域に登録し、指導医配置を行う。 ・研修医、専門医を派遣する。 ・各企業が産業医を依頼する。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研究費を助成する。
⑥	4-4 生涯学習	質の良い学習環境の整備	学習意欲が高い人は市外に流出しており、あえて香取市を「学びの場」として選定する人が少ないため。		廃校、空き家、オンライン・プラットフォームを利用する	<p><市民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民が既存の教育以外の人材教育を行う。 ・地区の人たちが、使用する建物の管理、清掃、環境整備を行う。 <p><団体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立する術を教えているボーイスカウトなどとコラボして職業教育や生活に関する教育を行う。 <p><企業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・香取市の創業支援事業を市外の企業も巻き込んで行う。 ・民宿・旅館とコラボして、キャリア教育の合宿を行う。 ・農園リゾート施設等で 企業合宿を行う。 <p><行政></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人材開発補助金を出す。 ・ワーケーションを促進する。 ・空き家の情報提供を行う。 ・廃校を整備する。

(4) グループD (テーマ: 人口減少)

本グループでは、人口減少というテーマについて、4つの解決策が提案されました。具体的には、移住政策のPRや空き家の利活用・情報発信、自治会・町内会への人的・経済的支援などが検討されました。

No.	施策分類	タイトル	なぜ	いつ	どこで	だれが、何を、どうする
①	1-3 企業・産業誘致	移住政策のPR	転出者が多く、転入者が少ないため。	なるべく早く	・インターネットの活用 ・マスコミの活用 ・市長によるトップセールス	<ul style="list-style-type: none"> <市民> <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり1人が、移住者への理解を深める。 <団体> <ul style="list-style-type: none"> ・行政と連携して、受入れ体制を充実させる。 <企業> <ul style="list-style-type: none"> ・地元市民の採用優先など雇用体制を充実させる。 <行政> <ul style="list-style-type: none"> ・移住政策のプランを策定するとともに、PRを行う。
②	6-4 地域間交流・国際交流	婚活の充実	出会いの場が少なく、未婚者が多いため。	すぐに、できるだけ早く	市内各地域	<ul style="list-style-type: none"> <市民> <ul style="list-style-type: none"> ・まちおこし協力隊が情報発信をする。 <団体> <ul style="list-style-type: none"> ・団体同士が連携してイベントの企画を行う。 <企業> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活系企業が協力、連携、支援をし、イベントの際はファシリテーターとして協力する。
③	6-3 過疎対策	空き家(古民家)の活用・移住政策	転入者が少ないため。空き家を利活用すべきだから。	できるだけ早く	市内各地域	<ul style="list-style-type: none"> <市民> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者が情報提供をする。(SNSで発信や連携するなど、若手からシニアまで情報が伝わるようにする) <団体> <ul style="list-style-type: none"> ・自治会・町内会が受け入れ体制を整え、コミュニティを醸成させる。 <企業> <ul style="list-style-type: none"> ・不動産業者が情報提供し、住めない状態であればリノベーション業者と連携し改修する。 <行政> <ul style="list-style-type: none"> ・HP等を活用した情報提供(都心へのアクセスをの良さPR)を行う。 ・移住の為に補助支援を行う。例えば行政がお試し住宅を整備する。
④	6-1 市民協働	自治会、町内会の支援	地域コミュニティが少なく、転入者も少ないため。	すぐに	市内各地域	<ul style="list-style-type: none"> <市民> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティに積極的に参加する。 <団体> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等の参加を支援する。 <企業> <ul style="list-style-type: none"> ・社員が地域活動に参加しやすい体制にする等、地域活動に対する理解を深める。 <行政> <ul style="list-style-type: none"> ・広報やHPでの情報発信をする。 ・地域コミュニティ・活動に対する経済的支援を行う。

(5) グループE (テーマ: 人口減少)

本グループでは、人口減少というテーマについて、3つの解決策が提案されました。具体的には、起業支援や自然など地域特性を生かした人材育成、共助の推進による財政負担の軽減などが検討されました。

No.	施策分類	タイトル	なぜ	いつ	どこで	だれが、何を、どうする
①	1-3 企業・産業誘致	起業支援	市内の雇用が少ないため。	なるべく早く		<ul style="list-style-type: none"> <市民> ・起業家に対して、株を買うなど資金提供を行う。 <団体> ・起業家と地元企業との仲介をする。 <企業> ・場所の提供や融資を行う。 <行政> ・企業・創業に関する補助制度を充実させる。
②	4-1 教育施設・環境の整備	土地の強みを生かした人材育成	ゴルフ場や乗馬場、自然など、もともとある香取市の資源を活かしてほしいから。	すぐに	ゴルフ場や乗馬場、自然などがあるところ	<ul style="list-style-type: none"> <市民> ・興味を持ち参加する。 <企業> ・ゴルフ場や乗馬場等が場所を提供するなど、協力する。 <行政> ・学校にチラシを配布する等、市民に告知する。
③	6-1 市民協働	地域のつながり(共助)を強化し市の財政負担の減少	子どもにかけられるお金を増やし、子どもにいろいろな体験をしてほしいから。	子どもがなるべく小さいときから	香取市内	<ul style="list-style-type: none"> <市民> ・自分の住むまちに関心を持つ。 <団体> ・多世代を含む地区の交流を強める。 <企業> ・子ども2人目以降にクーポンを配布する。 ・協賛金を出す。 <行政> ・市が財源を適正に配分する。

Ⅲ 会議結果に基づく取組の方向性

第 1 章 取組の方向性

第2次香取市総合計画後期計画の策定に当たって、6月と8月の2回にわたり、かとりみらい会議（市民ワークショップ）を実施しました。

第1回では、市民が実際に生活している中で感じている課題に対して解決策を検討いただきました。第2回では本市の最重要課題である「人口減少」及び「少子高齢化」を要素ごとに具体的な課題へと分解し、それぞれの課題についてどのような解決策が考えられるか意見をいただきました。

本章では第1回及び第2回において提案された様々なアイデア（市民が考える、今後の取組の方向性）の傾向について考察しています。

第1回かとりみらい会議	第2回かとりみらい会議
生活実感上の課題の観点から 解決策を検討	少子高齢化・人口減少対策の 観点から解決策を検討
① 強み・魅力、弱み・課題の整理 ② 課題ごとの目指す姿の検討 ③ 理想のまちを実現するためにできること の検討	① 「人口減少」、「少子高齢化」の 課題の抽出と細分化 ② 課題の解決策の検討と分類 ③ 具体的な解決策の策定

**上記2つの観点から提案された様々なアイデア（市民が考える、今後の取組の方向性）を第2次香取市総合計画 後期基本計画の
施策検討に活用していきます**

※本章では、会議結果を抜粋して整理を行っています。詳細な内容については各回の結果をまとめた頁を参照してください。

※意見の趣旨は変わらない程度に、記載の表現を修正している箇所があります。

※複数の大綱に共通するような取組も存在することから、類似した内容が複数の大綱の欄に記載されている場合があります。

<意見内容とりまとめ一覧の見方>

・意見内容：

第1回 「第2ラウンド『理想のまちにするためにできること』の目指す姿」より整理

第2回 「解決策の検討と分類」より整理

・施策分類：施策体系における解決策の位置付け

・第1回：意見が出たものに「○」を付けており、多く意見が出たものについては「◎」を付けています。

・第2回：意見が出たものに「○」を付けており、多く意見が出たものについては「◎」を付けています。

1. 産業・経済の振興

「産業・経済の振興」は、農林畜産業、商工業、雇用、観光、企業・産業誘致などが関連分野となっています。

生活実感上の課題及び少子高齢化・人口減少対策という観点の双方において出された提案としては、企業・産業誘致の推進、起業支援（創業支援）の充実、観光地としての魅力向上などが挙げられました。

生活実感上の課題という観点では、農林畜産業に関しては、後継者の育成、確保、農業を活かした2次産業の育成、法人化やスマート農業の推進などの農業の生産性向上、農作物のブランド化の推進などに関する提案がありました。商業に関しては、後継者の育成確保、事業者間での連携強化などの提案がありました。

少子高齢化・人口減少対策としては、観光に関して、地域や関係団体との連携強化、夜間の観光イベントの充実について提案されました。

<意見内容の整理>

No	意見内容	施策分類	第1回	第2回
1	6次産業化の推進（農業を活かした2次産業の育成）	1-1 農林水産業	○	
2	農業の生産性向上（法人化、スマート農業）	1-1 農林水産業	○	
3	農作物のブランド化	1-1 農林水産業	◎	
4	農業・商業における後継者の育成・確保	1-1 農林水産業 1-2 商工業	○	
5	事業者間での連携強化	1-2 商工業	○	
6	商業施設の誘致	1-2 商工業	○	
7	企業・産業誘致の推進	1-3 企業・産業誘致	○	○
8	起業支援（創業支援）の充実	1-3 企業・産業誘致	○	○
9	観光地としての魅力向上	1-4 観光	○	○
10	地域や関係団体との連携	1-4 観光		○
11	夜間の観光イベントの充実	1-4 観光		◎

2. 生活・環境の向上

「生活・環境の向上」は、自然環境、脱炭素、環境美化、公害、廃棄物、公園、水辺空間、交通安全、防犯、防災、救急、人権、男女共同参画、LGBTQ+などが関連分野となっています。

生活実感上の課題という観点では、交通安全、防災対策に関する意見が出されました。特に防災に関する意見が多く出され、災害時の対応について、情報伝達手段の充実、家族や職場、地域での話し合いといった事前準備や災害弱者の救済などが挙げられました。

<意見内容の整理>

No	意見内容	施策分類	第1回	第2回
1	大人から子供、観光客が安全に通行できる道路整備	2-6 交通安全・防犯	○	
2	自然を活かした治水・防災対策	2-2 環境衛生・公害対策	○	
3	情報伝達手段の充実	2-7 防災・消防・救急	○	
4	地域防災力の向上（地域での事前の話し合い）	2-7 防災・消防・救急	○	
5	災害弱者への支援	2-7 防災・消防・救急	○	
6	大規模災害に備えた減災対策	2-7 防災・消防・救急	○	

3. 健康・福祉の充実

「健康・福祉の充実」は、地域福祉、介護保険、地域包括ケア、高齢者福祉、子育て、保育、障がい者福祉、健康づくり、感染症対策、地域医療などが関連分野となっています。

生活実感上の課題及び少子高齢化・人口減少対策という観点の双方において、子育てに関する意見が多く出されました。特に、子育てサロンの設置や子どもの遊び場整備、産婦人科の設置についての取組を進めることを望む声が多く挙げられました。

生活実感上の課題という観点では、世代間交流の促進や地域の居場所づくりなどに関する意見が多く出されており、普段の生活のなかで高齢者福祉や子育てにおいても地域コミュニティの存在が重要な役割を果たしていると感じられていることが推察されます。また、子育て世代への経済的支援について意見が多く、保育環境の整備、小児病棟の整備などの提案も挙げられました。

少子高齢化・人口減少対策という観点では、放課後児童クラブのサービス充実や香取おみがわ医療センターの充実などの提案が挙げられました。

<意見内容の整理>

No	意見内容	施策分類	第1回	第2回
1	世代間交流の促進	3-3 高齢者の生きがい 3-4 子育て	◎	
2	地域での居場所づくり（地域コミュニティの醸成）	3-3 高齢者の生きがい 3-4 子育て	◎	
3	子育てサロンの整備	3-4 子育て	○	○
4	子育て世代への経済的支援	3-4 子育て	◎	
5	地域全体での子育ての実現	3-4 子育て	○	
6	子どもの遊び場整備	3-4 子育て	◎	○
7	保育環境の整備	3-4 子育て	○	
8	放課後児童クラブのサービス充実	3-4 子育て		○
9	産婦人科施設の設置	3-7 地域医療	○	○
10	小児科病棟（入院施設）の整備	3-7 地域医療	○	
11	香取おみがわ医療センターの充実	3-7 地域医療		○

4. 教育・文化の振興

「教育・文化の振興」は、学校教育、給食、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ、歴史、文化、芸術などが関連分野となっています。

生活実感上の課題という観点では、教育施設・環境の充実、学校給食の充実といった学校教育に関する意見が出されたほか、水上スポーツの振興や歴史文化資源の活用など香取市の地域特性を活かした取組を求める声がありました。

少子高齢化・人口減少対策という観点からは、市の特色を生かした教育の実施、リカレント教育やキャリア教育といった社会教育の充実など、市内で学び、成長できる環境を整備する提案が挙げられました。

<意見内容の整理>

No	意見内容	施策分類	第1回	第2回
1	教育施設・環境の充実	4-1 教育施設・環境の整備	○	
2	学校給食の充実	4-2 学校教育	○	
3	地域資源（ゴルフ場、乗馬クラブ等）の活用	4-2 学校教育		○
4	サポート・カウンセリングの充実	4-2 学校教育	○	
5	良質な社会学習環境の整備	4-4 生涯学習		○
6	公共施設の充実	4-4 生涯学習 4-5 スポーツの推進	○	
7	水上スポーツ等の振興	4-5 スポーツの推進	○	
8	歴史文化資源の活用	4-6 歴史・文化・芸術	○	

5. 都市基盤の整備

「都市基盤の整備」は、都市計画、土地利用、町並み、市街地整備、空き家、住環境、道路、河川、公共交通、上下水道などが関連分野となっています。

生活実感上の課題及び少子高齢化・人口減少対策という観点の双方において、幹線道路の整備や公共交通機関の充実に関する意見が多く出されました。

生活実感上の課題という観点では、空き家バンクの充実など空き家・空き地の対策・有効活用を求める声も多く挙げられており、日常生活の中でも空き家が課題になってきていることが推察されます。

少子高齢化・人口減少対策という観点では、宅地の造成、移住者への住宅支援制度などが意見として出されています。

<意見内容の整理>

No	意見内容	施策分類	第1回	第2回
1	市街地の活性化	5-1 都市計画・土地利用	○	
2	歴史的建造物の保存と情報発信	5-2 町並み・市街地整備	○	
3	空き家・空き地の有効活用	5-3 住宅環境	◎	
4	宅地の造成	5-3 住宅環境		○
5	移住者への住宅支援制度の充実	5-3 住宅環境		○
6	道路（歩道）の整備	5-4 道路・河川	○	
7	安心・安全な通学路の実現	5-4 道路・河川	○	
8	幹線道路の整備	5-4 道路・河川	○	○
9	公共交通機関の充実	5-5 公共交通	◎	○
10	移動困難者への支援	5-5 公共交通	○	

6. 市民参画・行政の取組

「市民参画・行政の取組」は、市民協働、地域コミュニティ、国際交流、多文化共生、地域連携、広報・広聴、シティプロモーション、行財政改革などが関連分野となっています。

生活実感上の課題及び少子高齢化・人口減少対策という観点の双方において、地域活動の担い手確保や各種団体の連携強化など市民協働に関する意見が出されました。特に少子高齢化・人口減少対策という観点では、自治協議会等各種団体の運営支援やオンラインを活用した交流機会の創出、新たなコミュニティづくりなど多岐にわたる取組を期待する声が挙げられました。

少子高齢化・人口減少対策という観点では、移住者施策の検討や出会いの場の創出に関する意見が多く挙げられました。また、SNSを活用した情報発信、シティプロモーションの実施など情報発信に関する意見が多く出されており、今後重点的に取り組んでいく必要のある分野であると考えられます。

<意見内容の整理>

No	意見内容	施策分類	第1回	第2回
1	地域の担い手の確保	6-1 市民協働	○	○
2	各種団体の連携強化	6-1 市民協働	○	○
3	自治協議会を始めとした各種団体等の運営支援	6-1 市民協働		◎
4	オンラインを活用した交流機会の創出	6-1 市民協働		○
5	新たなコミュニティづくり	6-1 市民協働		○
6	自助・共助の推進	6-1 市民協働		○
7	移住者施策の検討と情報発信	6-3 過疎対策		◎
8	出会いの場の創出	6-3 過疎対策		◎
8	SNS等を活用した情報発信	6-5 広報・広聴		◎
9	シティプロモーションの実施	6-5 広報・広聴	○	○

第 2 章 総括

1. 総括

前述のとおり、かとりみらい会議（市民ワークショップ）において、生活実感上の課題及び少子高齢化・人口減少対策の観点から、様々なアイデア（市民が考える、今後の取組の方向性）が出されました。

その中でも、特に多くの意見が出された次の 6 テーマについては、今後一層取組を推進していくことが必要となります。

(1) 農業を中心とした既存産業の振興

基幹産業と考える農業は基より、商工業の隆盛を図ることのほか、多様な地域資源を活かした観光振興など、活力ある地域産業を育む取組を推進します。また、企業・産業誘致により雇用の場の創出に努めるとともに、新規創業者の起業・創業などに対して支援を促進し、既存商店街の魅力向上や地域活性化に繋げていきます。

(2) 子育てしやすい環境の整備

若者世代が安心して子育てをすることができるよう、産婦人科施設の設置、子育て世代への経済的支援、子どもの遊び場の整備、放課後児童クラブのサービス充実など子育て環境のさらなる充実に取り組みます。

(3) 公共交通の充実

市外への移動の利便性と市内の移動手段を確保するため、高速バスなど都市間交通の利便性向上と既存バス路線の運行維持や循環バスや乗合タクシーの利便性向上に努めていきます。また、取組の推進に当たっては、子どもや高齢者など交通弱者を取り残さないといった点にも配慮していきます。

(4) 空き家・空き地の利活用

空き家バンクや不動産の相続する際の相談窓口を整備することにより、需要と供給のマッチングを図っていきます。また、空き家の利活用に関して移住施策を含め補助制度などについて検討を進めます。

(5) シティプロモーションの実施

SNS による情報発信など様々な手段を用いてシティプロモーションに係る取組を推進します。市外に対しては本市の魅力発信を行うことで観光客や移住者を増やし、市内に対しても地域理解の促進により、市民のシビックプライドを醸成していくことを目指します。

(6) 市民と行政の協働によるまちづくり

自治協議会を始めとした各種団体や地域コミュニティの活動を活性化させるとともに、それらが相互に連携することで、市民・地域が主体的にまちづくりに参画していくことができる仕組みづくりを検討していきます。

IV 參考資料

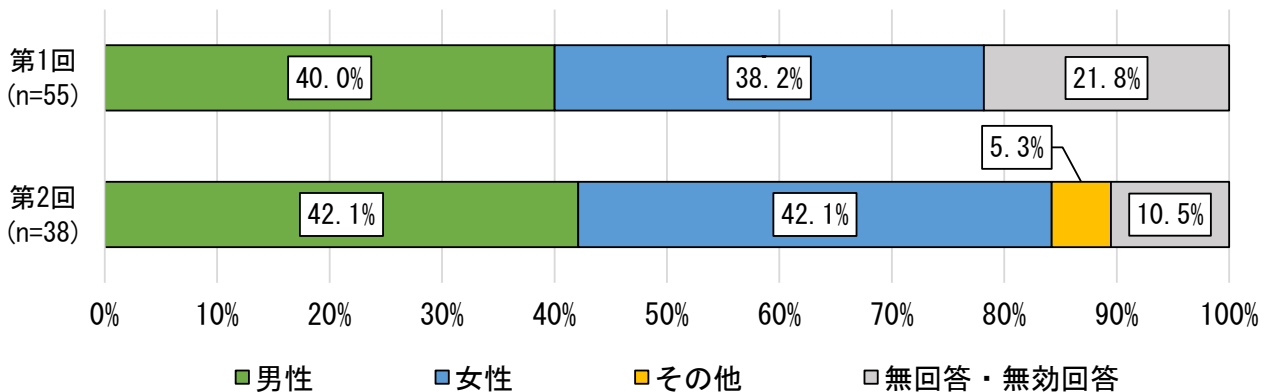
1. 参加者アンケート

かとりみらい会議終了後、ワークショップの感想や今後のワークショップの設計にあたっての参考意見を聴取するため、任意で無記名の参加者アンケートを実施しました。

※第1回かとりみらい会議の参加者は54名ですが、一部重複回答（アンケート用紙の重複提出）があったことから、各質問の総数が55となっています。

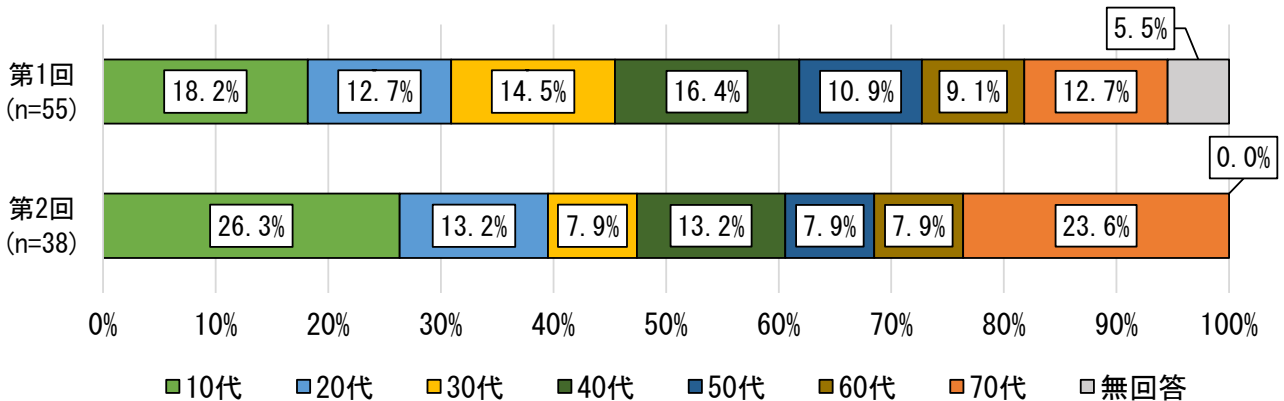
(1) 性別

参加者の性別は、第1回では「男」が22人（40.0%）、「女」が21人（38.2%）、「その他」が0人（0.0%）となっており、第2回では「男」が16人（42.1%）、「女」が16人（42.1%）、「その他」が2人（5.3%）となっています。



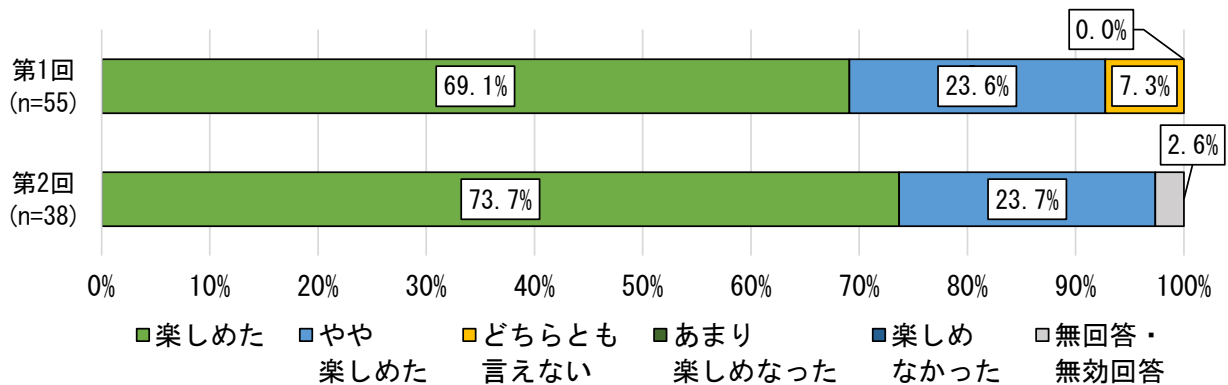
(2) 年齢

参加者の年齢は、第1回では「10代」が10人（18.2%）、「40代」が9人（16.4%）、「30代」が8人（14.5%）と続いており、第2回では「10代」が10人（26.3%）、「70代」が9人（23.6%）、「20代」と「40代」が5人（13.2%）と続いています。



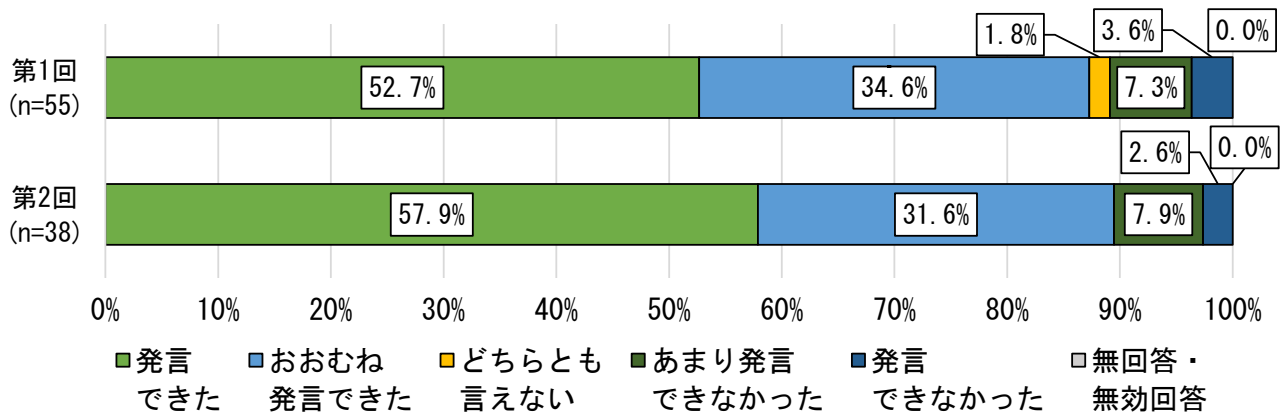
(3) 本日のかとりみらい会議は楽しみいただけましたか？

第1回では「楽しめた」「やや楽しめた」の合計が51人(92.7%)、第2回では37人(97.4%)となっています。



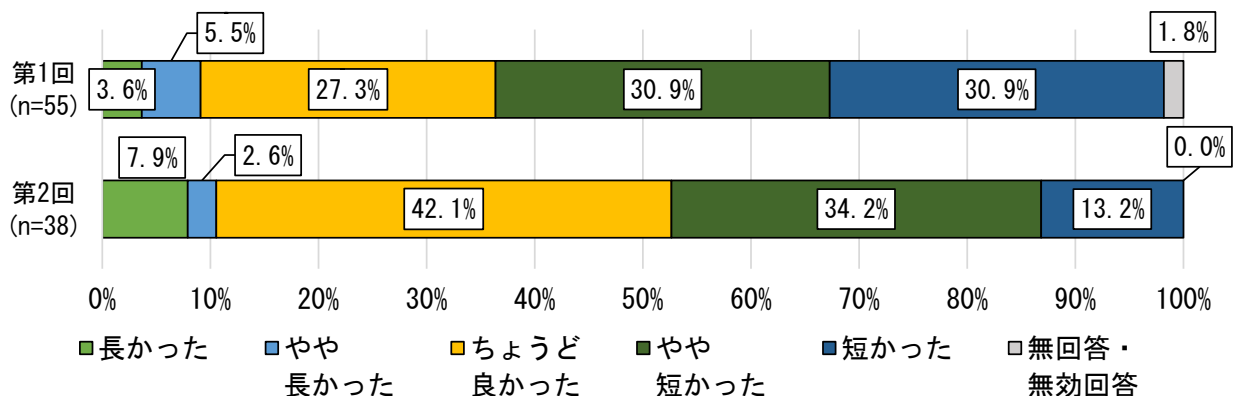
(4) 本日のかとりみらい会議では、ご自分の意見を十分に発言できましたか？

第1回では「発言できた」「おおむね発言できた」の合計が48人(87.3%)、第2回では34人(89.5%)となっています。



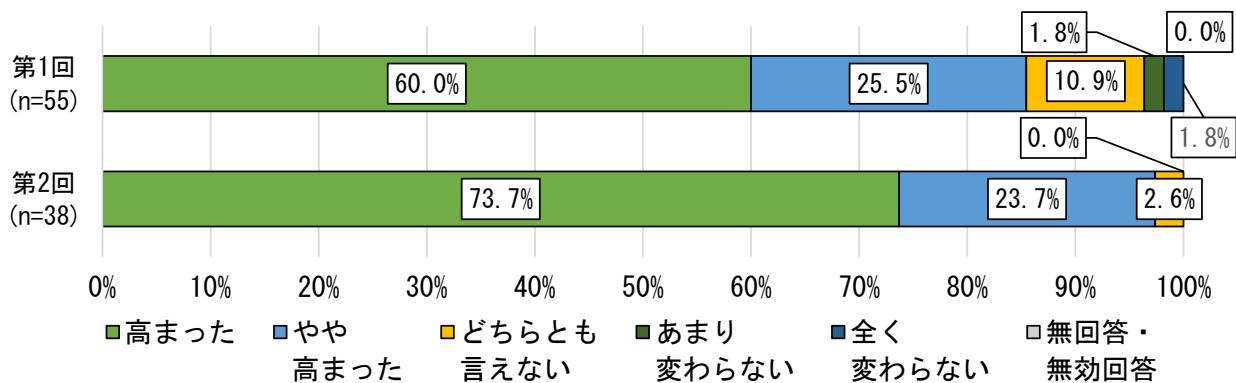
(5) 本日のかとりみらい会議の話し合いの時間（長さ）は、いかがでしたか？

第1回では「ちょうど良かった」が15人(27.3%)、「やや短かった」「短かった」の合計が34人(61.8%)となっています。第2回では「ちょうど良かった」が16人(42.1%)、「やや短かった」「短かった」の合計が18人(47.4%)となっています。



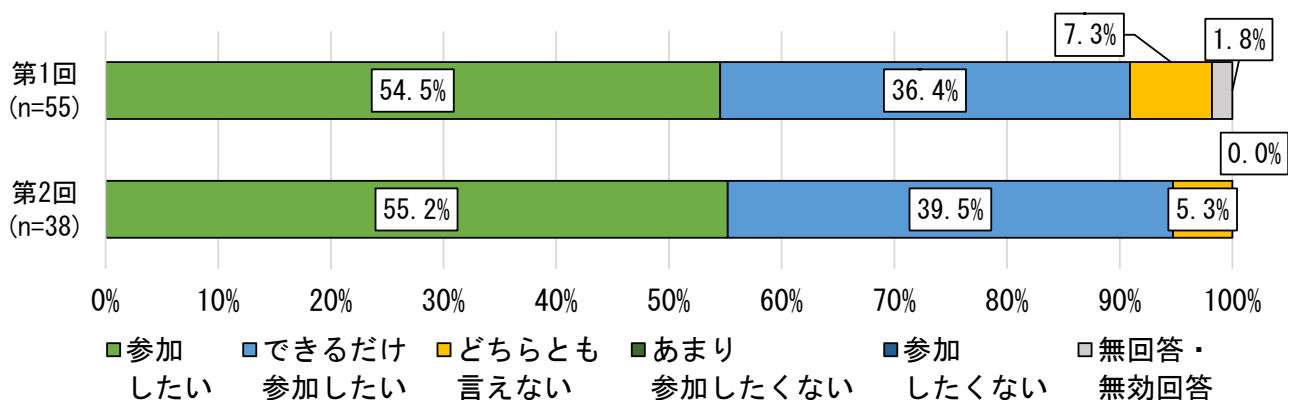
(6) 本日まで参加いただいたことで、行政や香取市のまちづくりに対する関心が高まりましたか？

第1回では「高まった」「やや高まった」の合計が47人(85.5%)、第2回では37人(97.4%)となっています。



(7) 今後、市民参画の機会がありましたら、また参加したいと思いますか？

第1回では「参加したい」「できるだけ参加したい」の合計が50人(90.9%)、第2回では36人(94.7%)となっています。



(8) 自由記述

<第1回>

- 市長や議員頼りではなく、住む人達が市に関心をもって、住みやすい町になったらいいと思います。
- 東京から移住して1年となりますが、前向きに活動されている方々とお話できる機会は貴重なので楽しかったです。
- 幅広い年齢や考え方を持つ人とともにディベートができ、とても良い機会だったと感じました。
- 行政に対して色々思うところがあり、その思いが反映されるということとてもわくわくした。
- 思っていた以上に香取市の将来を考えている人がいるんだと知って嬉しく感じました。

<第2回>

- 市民の方や市役所の方々と意見を交える貴重な機会になりました。
- 今日楽しく参加できとても良かったです。運営の方が「いいですねー!」「楽しそう!」と声をかけてくれたので盛り上がりました!
- 様々な方々(高校生も)の意見を聞かせていただいた事がとてもよかった事です。自分の日頃思っている事をお話しさせて頂いて、気持ちがスッキリしました。
- 子育てしているママたちが子供たちと一緒に参加して会議の間は託児所のように子供をみてもらえるともっとママたちが参加しやすくなると思います。

